

2025年度卒業生

卒業時アンケート結果

2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

◆アンケート概要

【実施目的】

学生の大学生生活全般に対する満足度、成長実感、進路に対する満足度等を調査し、学修成果の検証や学生支援の充実に活用することを目的とする。

【実施対象】

2025年度卒業生

【実施期間】

9月卒業生：2025年9月18日～9月23日 / 3月卒業生：2026年3月19日～3月23日

【回答状況】

対象人数：133名

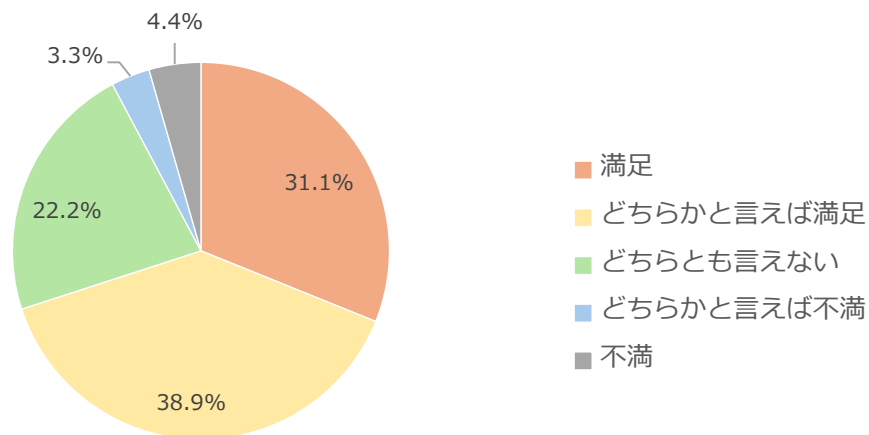
回答人数：90名

回答率：67.7%

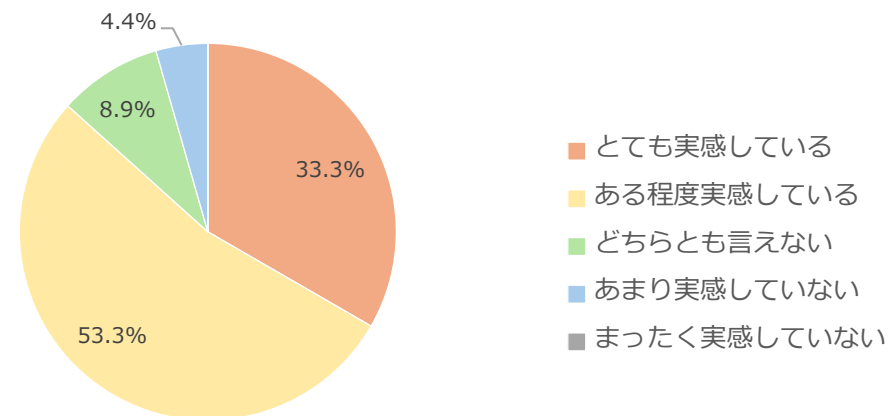
2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：大学生生活全般について＞

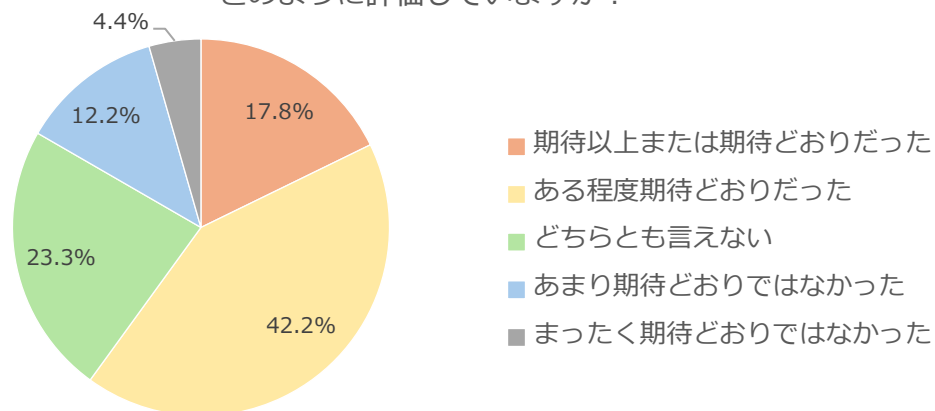
Q1：本学での大学生生活全般について満足していますか？



Q2：本学での大学生生活を振り返って成長を実感していますか？

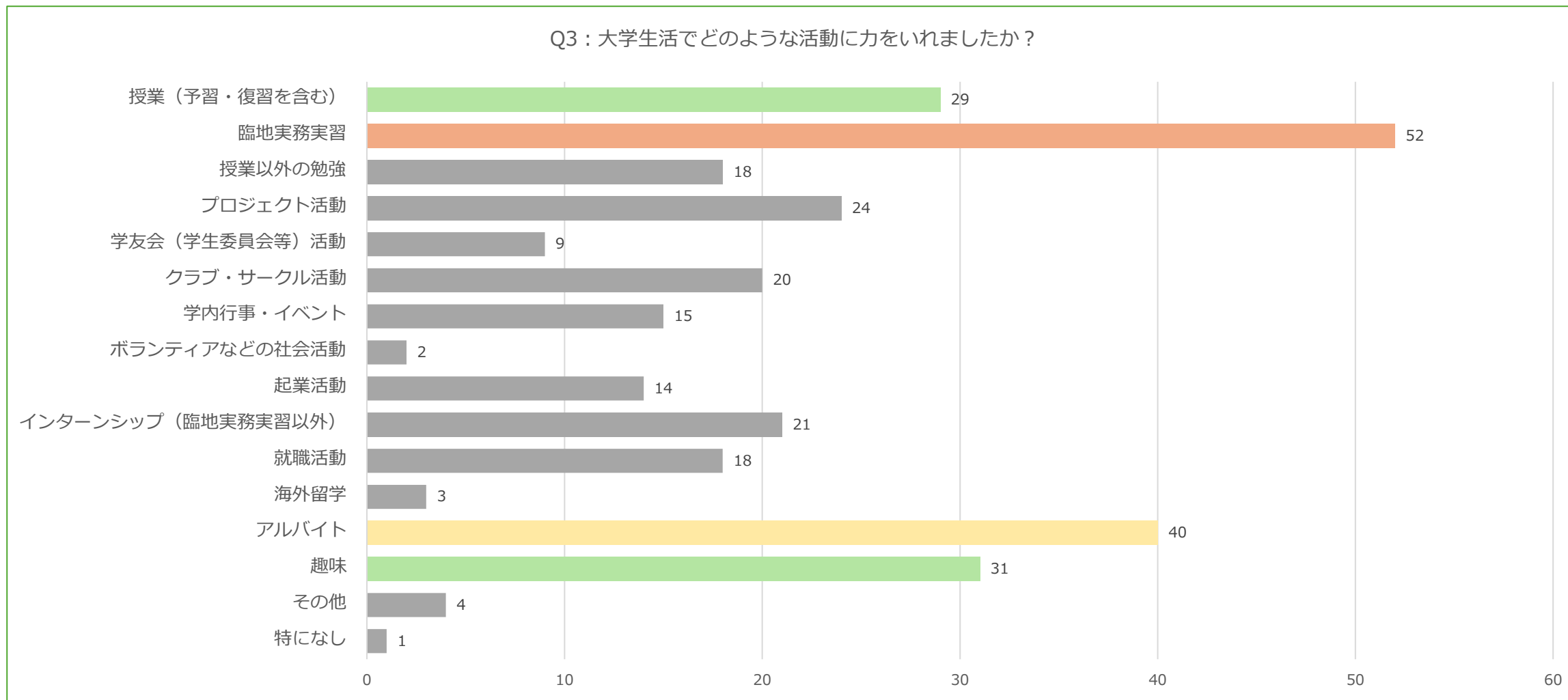


Q5：本学での大学生生活を総合的にみて、入学時の期待と比較して
どのように評価していますか？



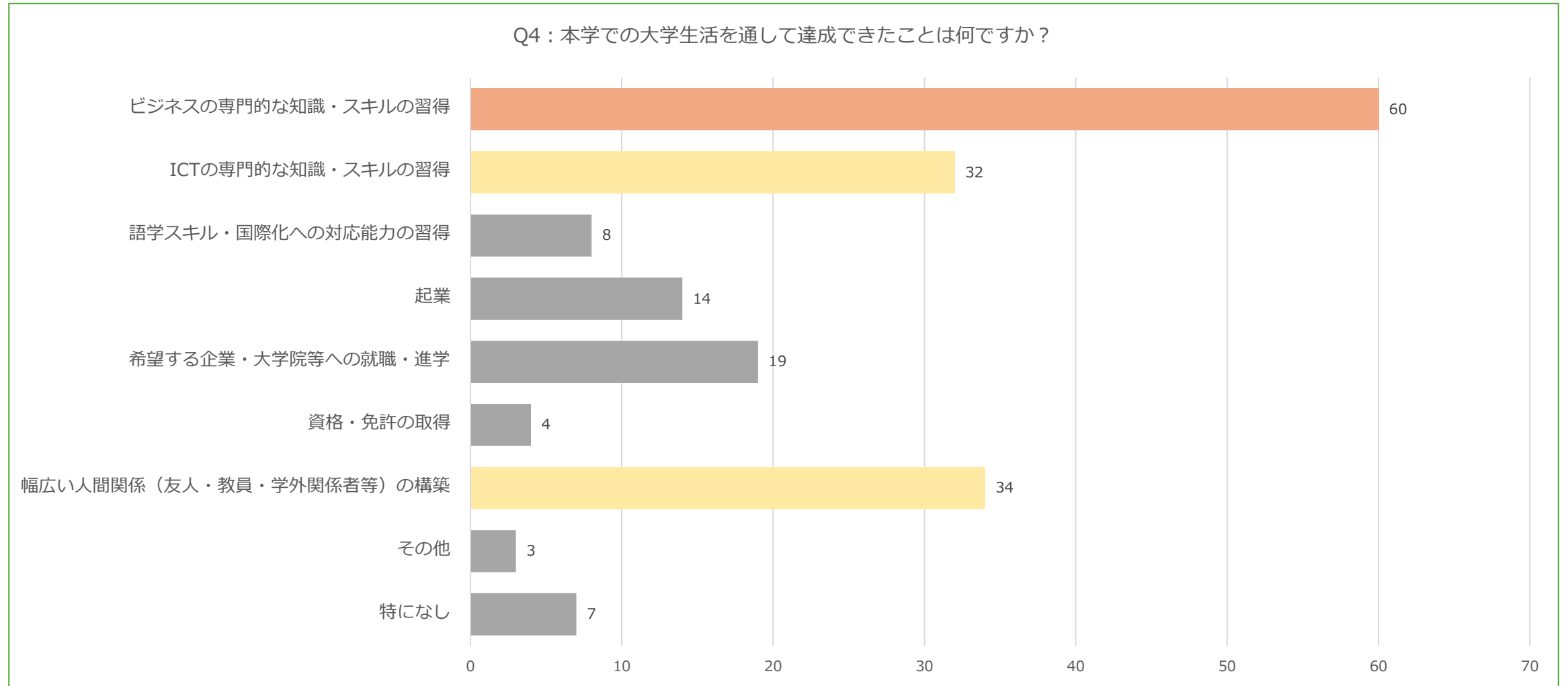
2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：大学生生活全般について＞



2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：大学生活全般について＞



2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：学修達成度について＞

Q6：本学での卒業までの学修を通して以下の各ディプロマ・ポリシーに定める能力・態度をどの程度身に付けることができましたか？

区分	ディプロマ・ポリシー	
職業的 自立	DP①-1	自分の ライフ・キャリアに関する明確な目標 をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を 自ら考え意欲的に行動 できる。
	DP①-2	グローバルな視野 をもってさまざまな 人々の抱える課題を多面的・構造的に理解 するための知識や方法を身に付けている。
	DP①-3	変化し続ける社会や組織を 論理的に捉え順応 することができる。
経 営	DP②-1	企業経営に関する理論・実践 を学ぶことにより、 継続的改善に向けた目標を設定 し、状況に応じながら 計画的に実施 することができる。
	DP②-2	市場の情報収集や調査 を行い、 経営上の課題を発見 することができる。
	DP②-3	企業の持続性 という観点から、 評価・分析 する経営理論や実践的技法を身に付けている。
	DP②-4	新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案 することができる。

2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

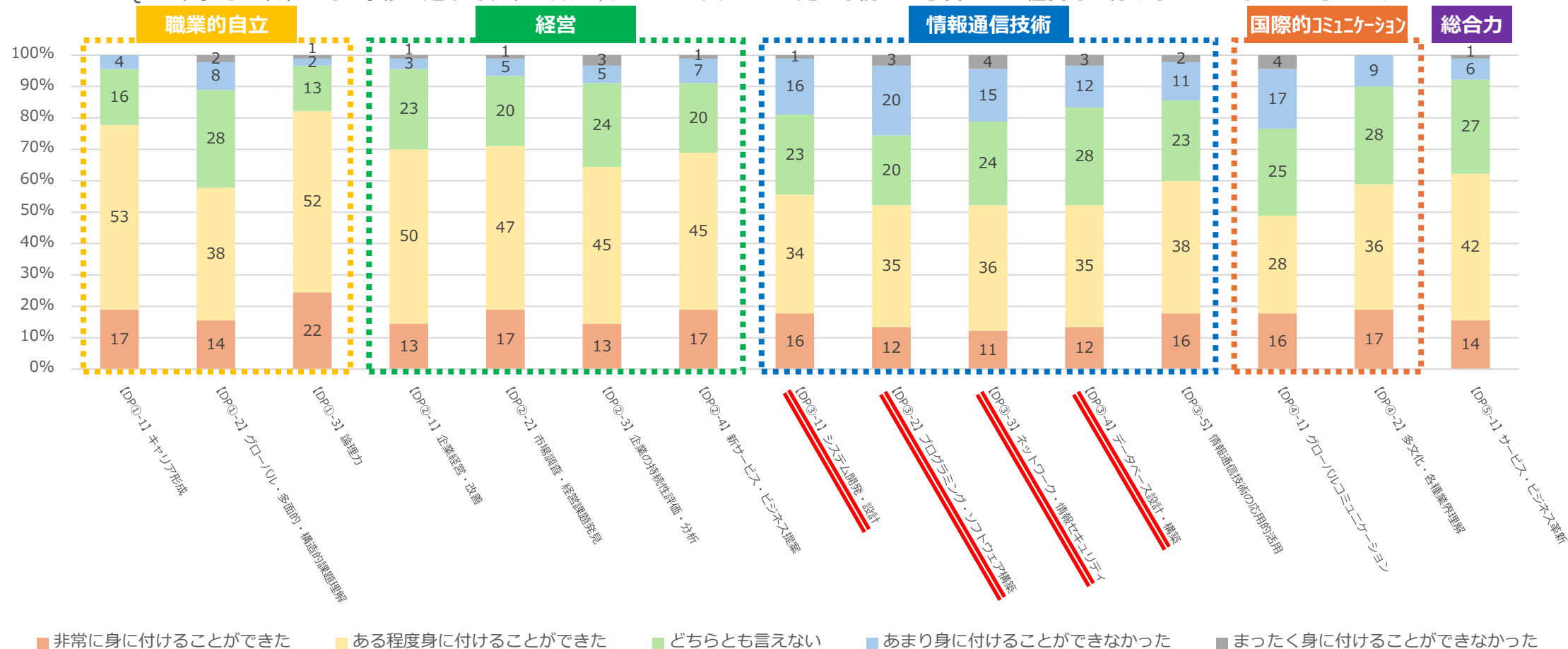
＜アンケート結果：学修達成度について＞

区分	ディプロマ・ポリシー	
情報通信 技術	DP③-1	システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもと システム開発・設計 ができる。
	DP③-2	コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術である プログラミングを理解 し、統合開発環境を活用して ソフトウェアの構築 ができる。
	DP③-3	基本的な ネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解 しその上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
	DP③-4	データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係 データベースを設計構築 する基礎的な能力を身に付けている。
	DP③-5	情報通信技術を応用的に活用 したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。
国際的 コミュニケーション	DP④-1	グローバルビジネスの現場で 説明や討論、意見交換など、 必要なコミュニケーションをとる ことができる。
	DP④-2	文化的背景の異なる人々と協働するために、 多文化、文献、様々な業界などを理解 することができる。
ビジネス の総合力	DP⑤-1	経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、 サービス・ビジネスを革新 するために、これらの知識を応用することができる。

2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：学修達成度について＞

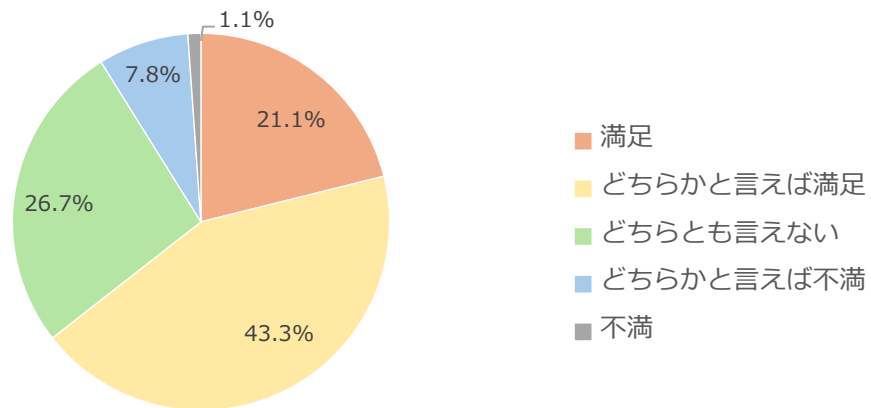
Q6：本学での卒業までの学修を通して以下の各ディプロマ・ポリシーに定める能力・態度をどの程度身に付けることができたと思いますか？



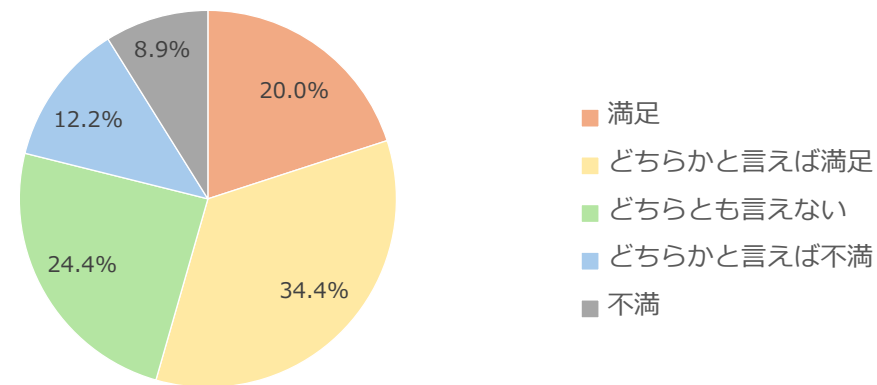
2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：学修について＞

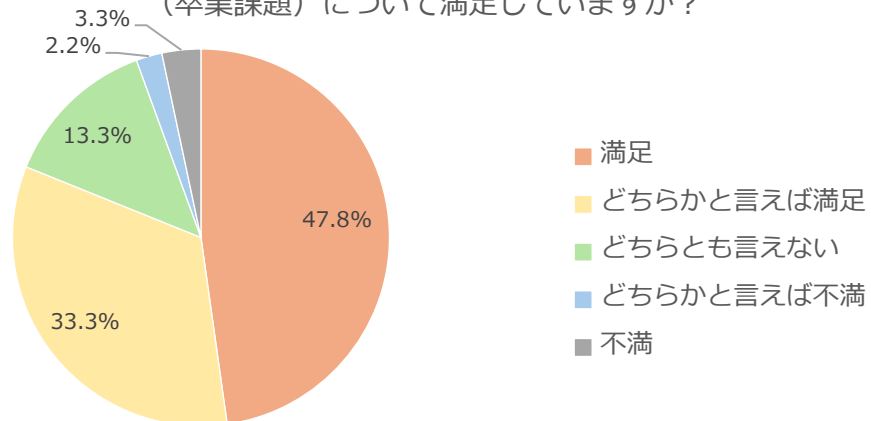
Q7：本学で卒業までに学修した内容（履修した授業）について
満足していますか？



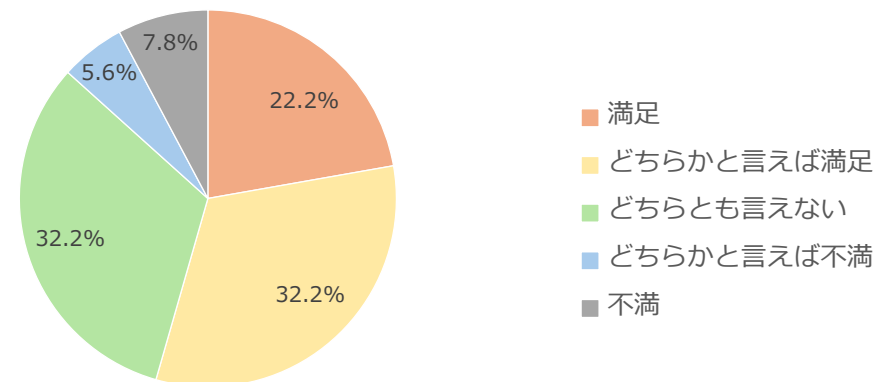
Q10：施設・設備の面において本学の学修環境に満足して
いますか？



Q8：ゼミ指導（「総合理論演習」「総合実践演習」）・卒業研究
（卒業課題）について満足していますか？



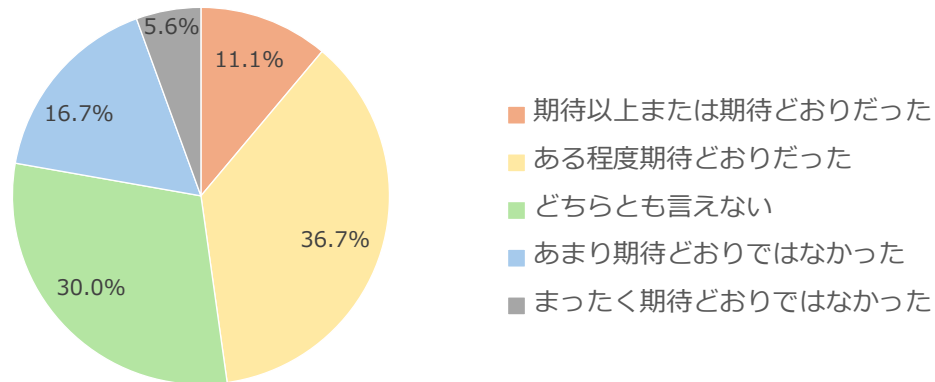
Q9：「イノベーションプロジェクト」での学修内容について、
4年間を総合的にみて満足していますか？



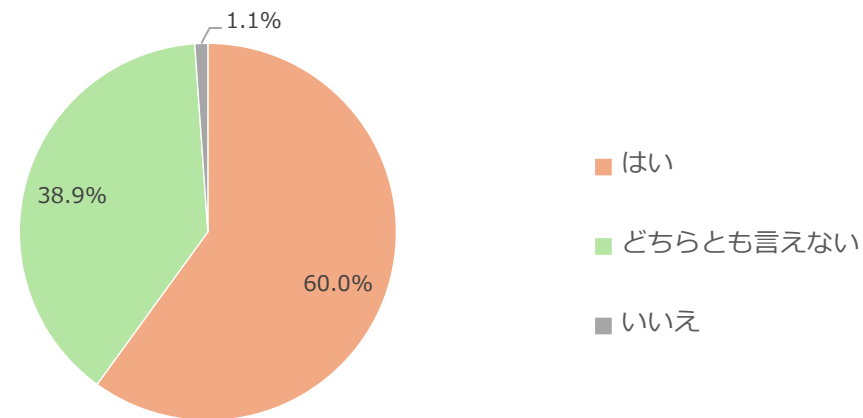
2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

<アンケート結果：学修について>

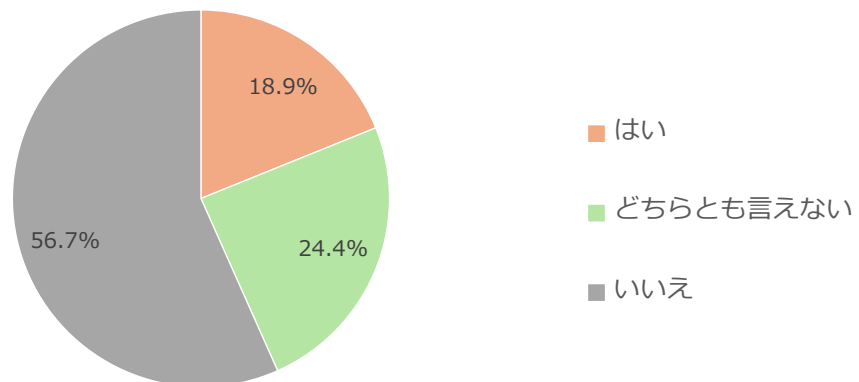
Q11：本学の教育内容を入学時の期待と比較してどのように評価していますか？



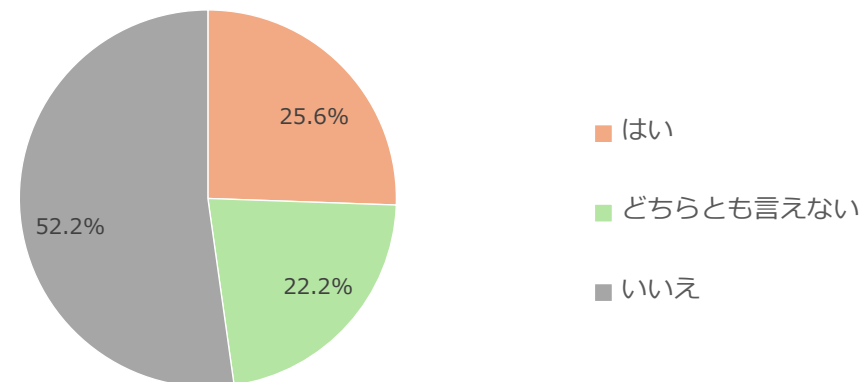
Q12：授業には意欲的に取り組みましたか？



Q13：卒業まで授業に関する学習を進める上で、オフィスアワーを積極的に活用しましたか？



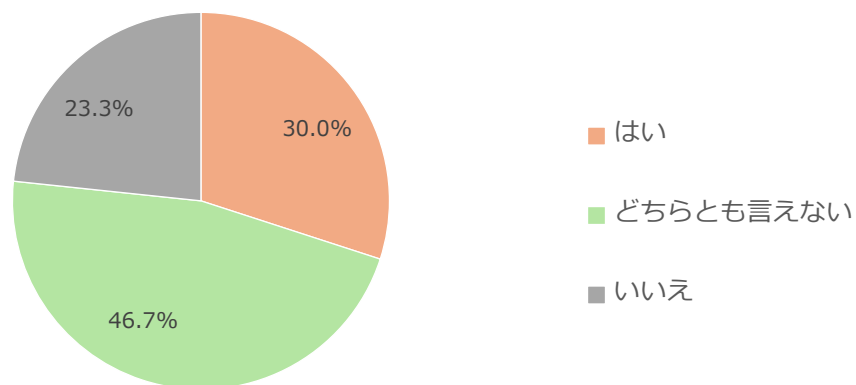
Q15：授業に関する学習を行う上で、iU Libraryを積極的に活用しましたか？



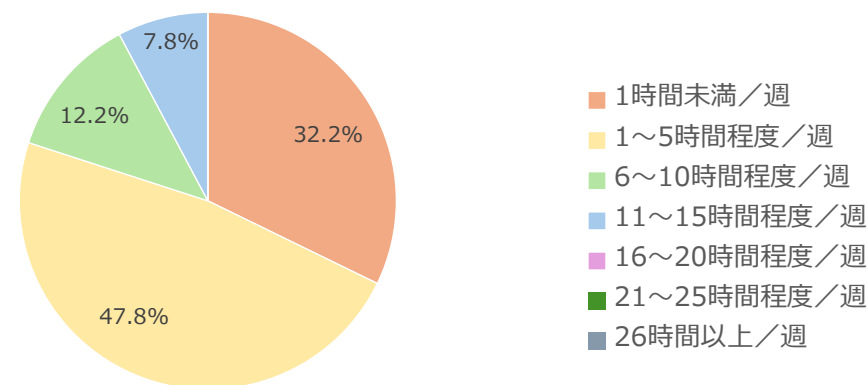
2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：学修について＞

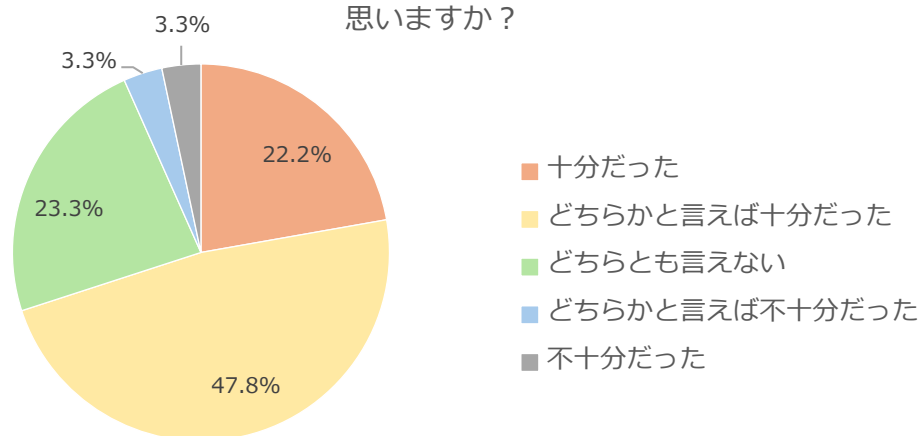
Q14：授業の予習・復習には自主的に取り組みましたか？



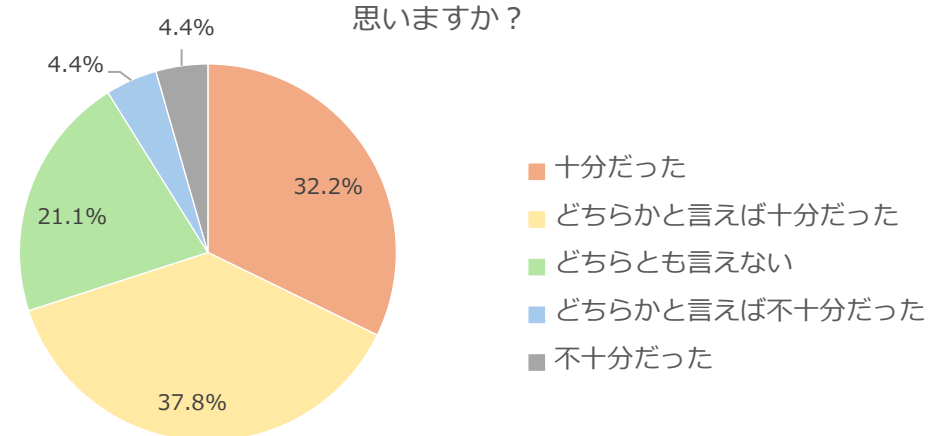
Q16：日常的に、予習・復習・課題など授業に関する学習に1週間あたり平均してどの程度取り組んでいましたか？



Q17：卒業まで学修を進める上で、教員からの支援は十分だったと思いますか？



Q18：卒業まで学修を進める上で、職員からの支援は十分だったと思いますか？



2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

<アンケート結果：学修について>

Q19：本学の教育内容や授業について、特に良かったと思う点があれば教えてください。（回答抜粋）

- 英語やプログラミングなどの授業は良かった。実践的だったし。
- 臨地実務実習でのインターンシップは実際の現場で働くことができとてもよい経験になった
- 実践的な内容が多かった点です。単に知識を学ぶだけでなく、実際のケースや課題に取り組む機会があり、理解を深めることができました。
また、授業を通して自分で考える力や問題解決力を養うことができたと感じています。
これらの経験は、今後社会に出てからも活かせると考えています。
- グループワークが中心の講義が多かったので様々な意見を聞くことによって新たな価値観だったり、考え方を知ることができたのでそこが一番よかったことだと思います。
- 少人数制でグループワークが多かった点
- 実務家教員の教科書に載っていない生の体験談
- 教員との距離が近い
- 授業やイベントを通して客員教員を含む様々な人と出会うことで、自分の知識と選択しを広げることができた点に非常に満足している。

2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：学修について＞

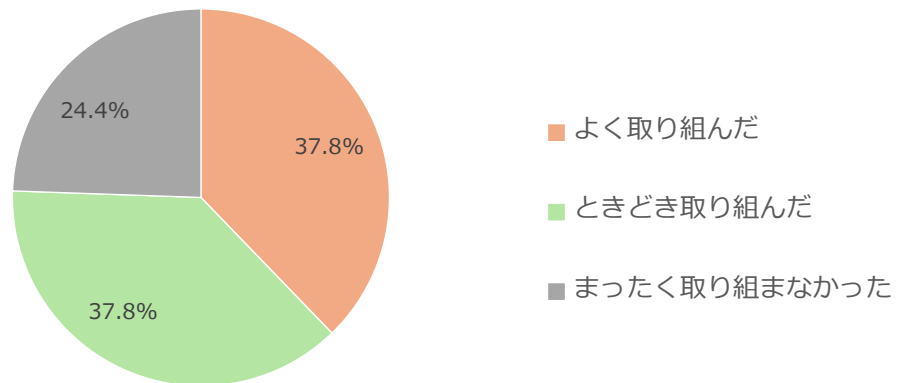
Q20：本学の教育内容や授業について、改善した方がよいと思う点があれば教えてください。（回答抜粋）

- より実践的な社会と接続した授業を臨時実務実習以外に用意するのがよいと思う。
- 実務により近い内容や最新の業界動向を学ぶ機会が、もう少し増えるとより良いと感じました。
- プログラミングなどの知識を入れることが多いものの実際によく使われているツールに関する知識が少なかったなのでその点の補充は改善した方が良いと感じました。
- 語学学習が不足している。夏休みに実施しているような取り組みを増やして欲しい。
- 既にAIが社会実装されつつあるので、AIの活用を前提とした授業にシフトすべきかと。専門知識に関しては資格取得を積極的に推奨し、一部単位認定の条件にする。専門知識以外の分野に関しては教科書では学べない体験をベース（他者との共創や実習など）に、コミュニケーション力やプロジェクトマネジメント力などを強化する内容にした方がより社会を生き抜く力が付くと思います。
- 生成AIは様々な権利侵害の観点から推進すべきではない。授業で生成AIの使用を強制され不快だった。
- 授業資料をそのまま読む授業が何個かあったが、読めば良いだけであったら決められた時間に授業に出席する意味はないと思う。
- 教員による授業の内容、事前事後学習の目標、課題の差分を均等にしてほしい。
- 学期末テストがどの教科にもあったら学習意欲が高くなると思う。

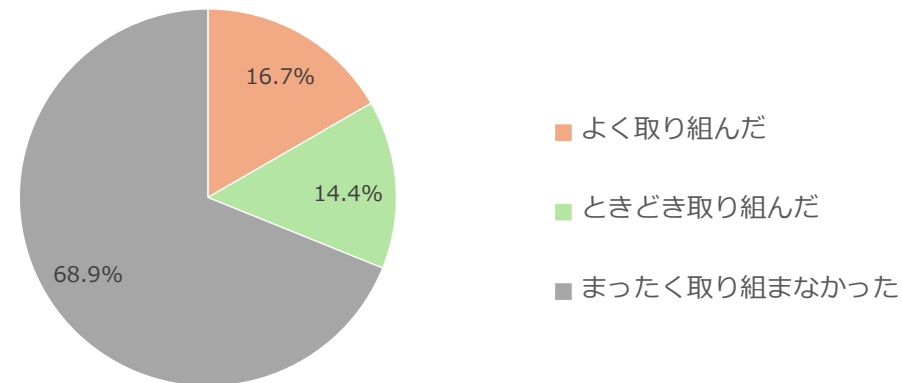
2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：課外活動について＞

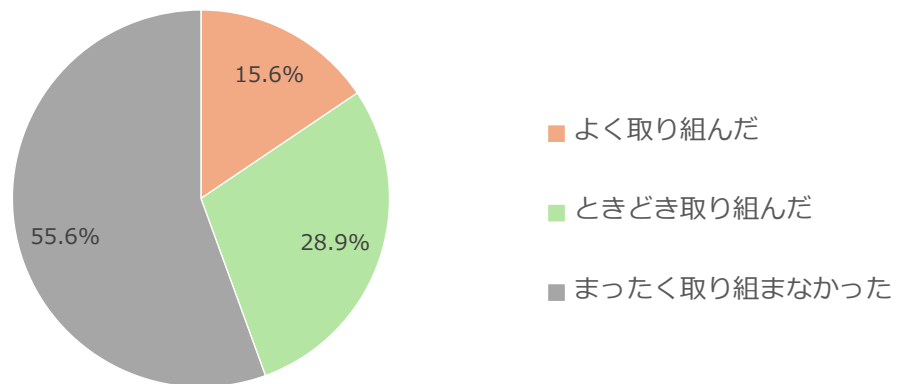
Q21：プロジェクト活動はどの程度取り組みましたか？



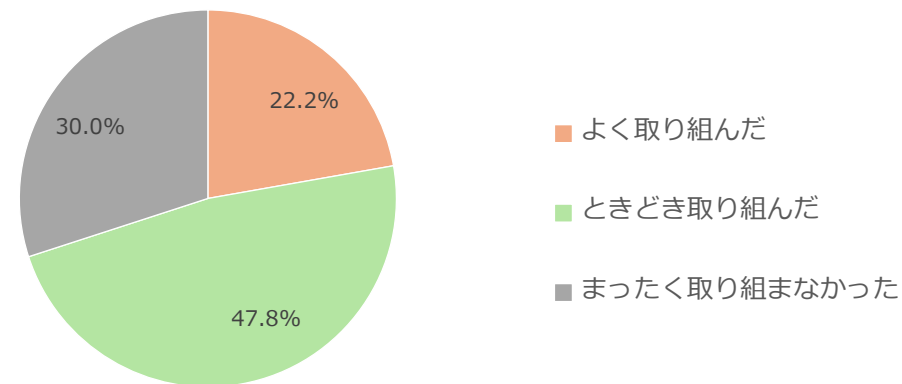
Q22：学友会（学生委員会等）活動はどの程度取り組みましたか？



Q23：クラブ・サークル活動はどの程度取り組みましたか？



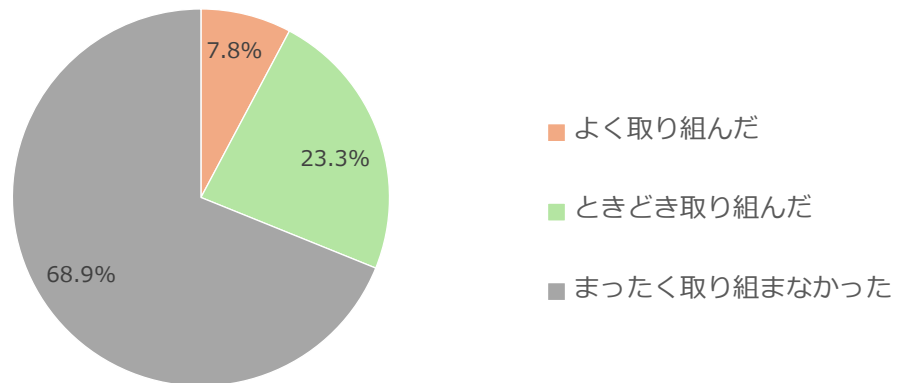
Q24：学内行事・イベントにはどの程度取り組みましたか
(参加しましたか)？



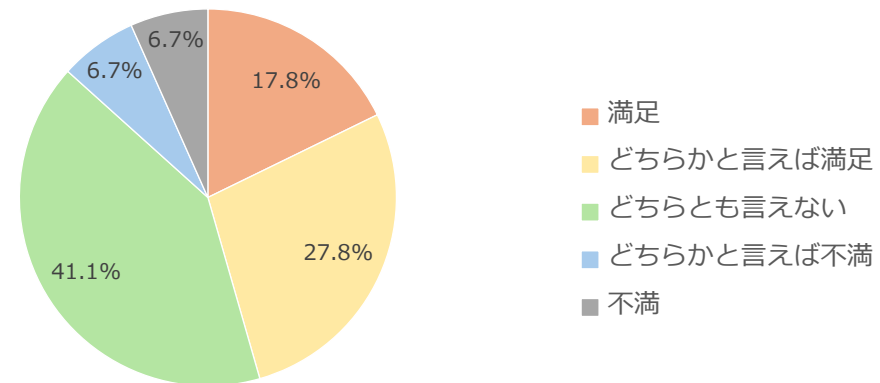
2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：課外活動について＞

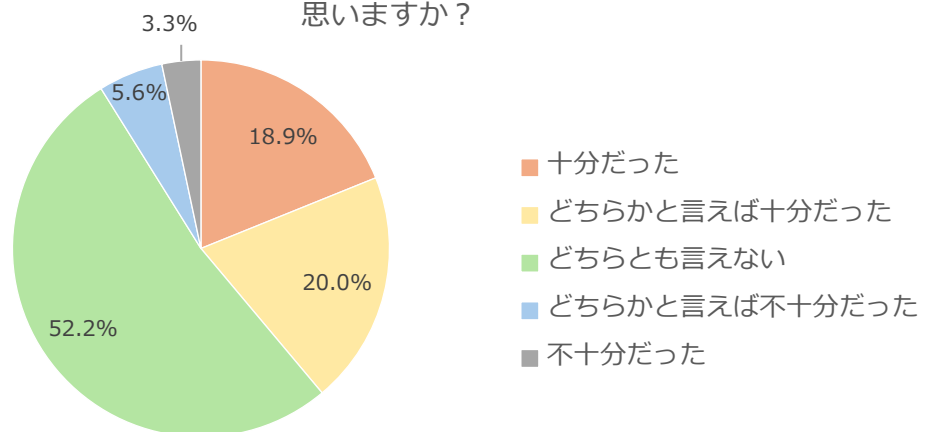
Q25：ボランティアなどの社会活動にはどの程度取り組みましたか
(参加しましたか)？



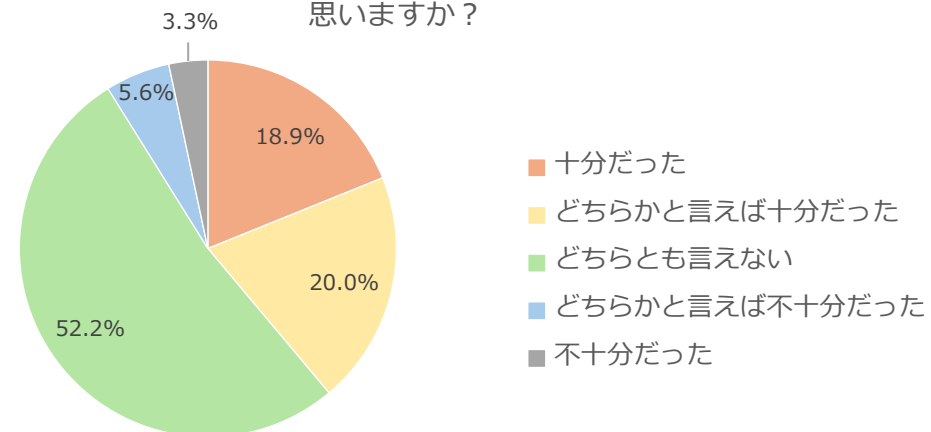
Q26：課外活動を行う上で、本学の施設・設備に満足していますか？



Q27：課外活動を行う上で、教員からの支援は十分だったと思いますか？



Q28：課外活動を行う上で、職員からの支援は十分だったと思いますか？



2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：課外活動について＞

Q29：課外活動を行う上で、特に良かった点があれば教えてください。（回答抜粋）

- 何かこちらが不満を持った時に話を聞いてくれてアドバイスをくれたり、寄り添ってくれたのがとてもよかったと思います。
- 大きな活動ではありませんが、課外活動を通して継続して取り組む力や自己管理能力を身につけることができました。
- 展示会、イベント等、ご協力とご理解をいただいた。
- フリーに使用できる環境が多かったので集合場所として使用したり、イベントとして学内を簡単に使用できたのはかなり良かったと感じました。
- 大学の施設を作業スペースとして使用できた点がよかった。人数も少なく、利用しやすかった。
- iUを実質0円で借りれたこと（保護者からの施設利用料支払いがあるので無料ではないが）
- 学校を貸してくれる点。

2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：課外活動について＞

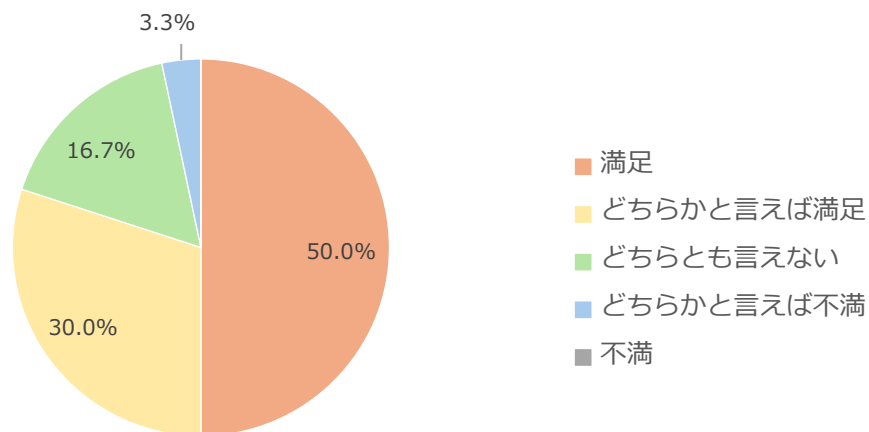
Q30：課外活動を行う上で、改善した方がよいと思う点があれば教えてください。（回答抜粋）

- どのような学外活動があるのか、把握や認知がしきれないことが多い
- 活動の情報共有や参加の機会がもう少し充実すると良いと思います。例えば、活動内容や募集情報がより分かりやすく発信されることで、より多くの学生が参加しやすくなるのではないかと感じました。そのような環境が整うことで、さらに活発な課外活動につながると思います。
- 客員教員との関わりが、不十分だった。そもそも、客員教員の全容を把握・アクセスできる状態に整備できていない事自体が問題なのと、連絡を取ることに消極的な支援にはガッカリした。
- 保管所があればいいと思いました
- Hubを以前の形に戻す方がよいと感じます。課外活動が教員にも見えやすく、またとりあえずそこに学生が居る可能性を作ること職員にもメリットがあると感じています。

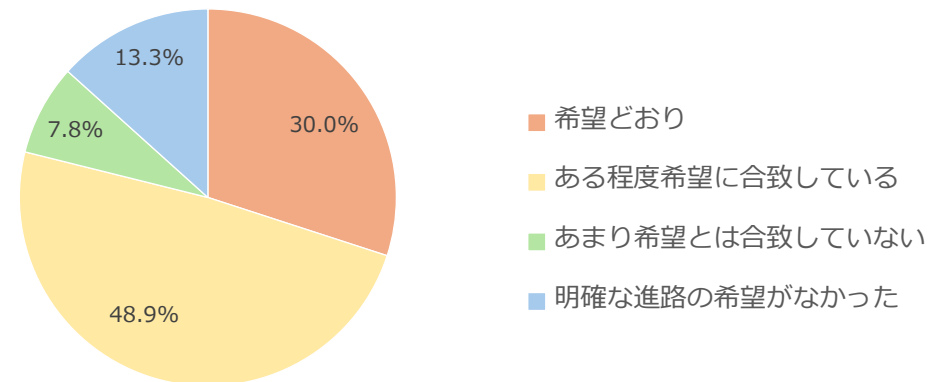
2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

<アンケート結果：進路・キャリア支援について>

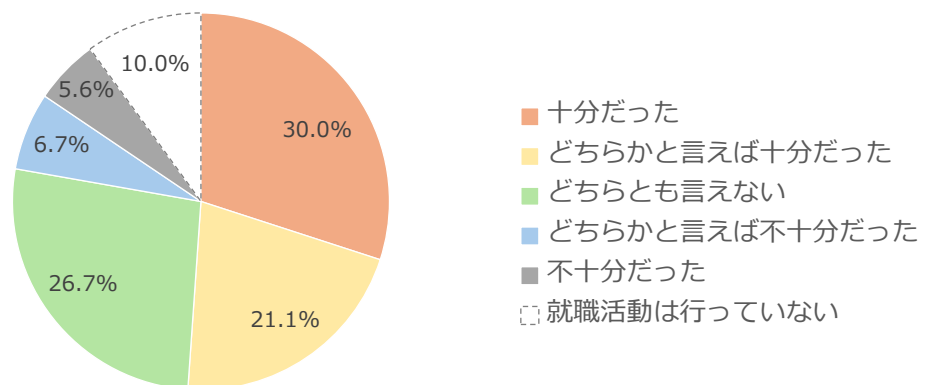
Q31：卒業後の進路に満足していますか？



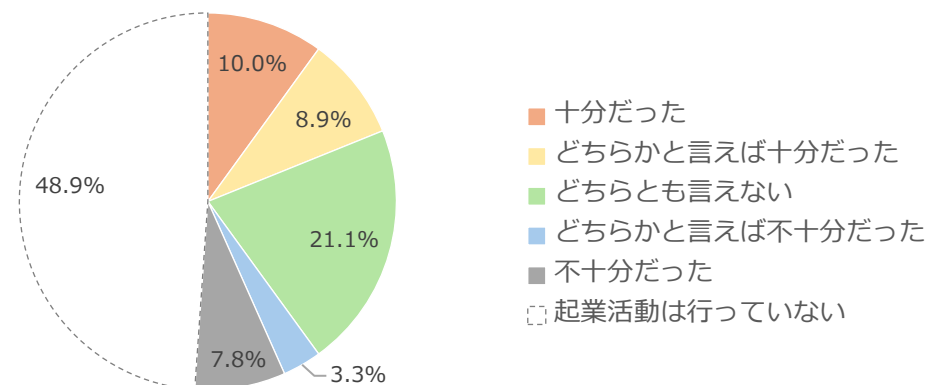
Q32：卒業後の進路は、就職活動・進学準備等を始めた時点での希望とどの程度合致していますか？



Q33：就職活動に関する支援は十分だったと思いますか？



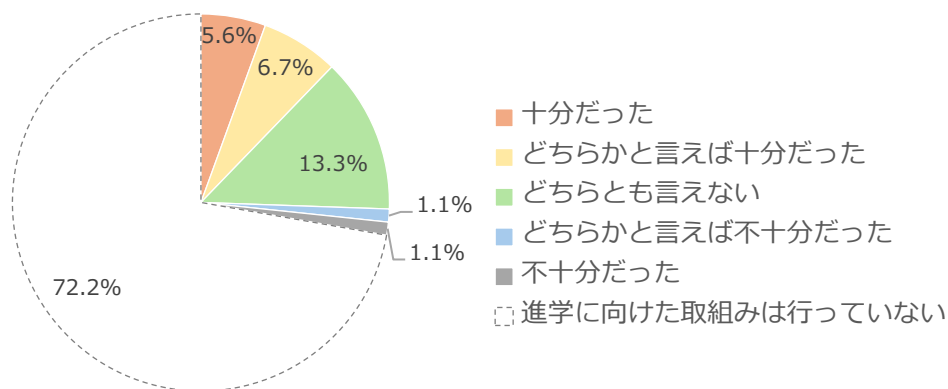
Q34：起業に関する支援は十分だったと思いますか？



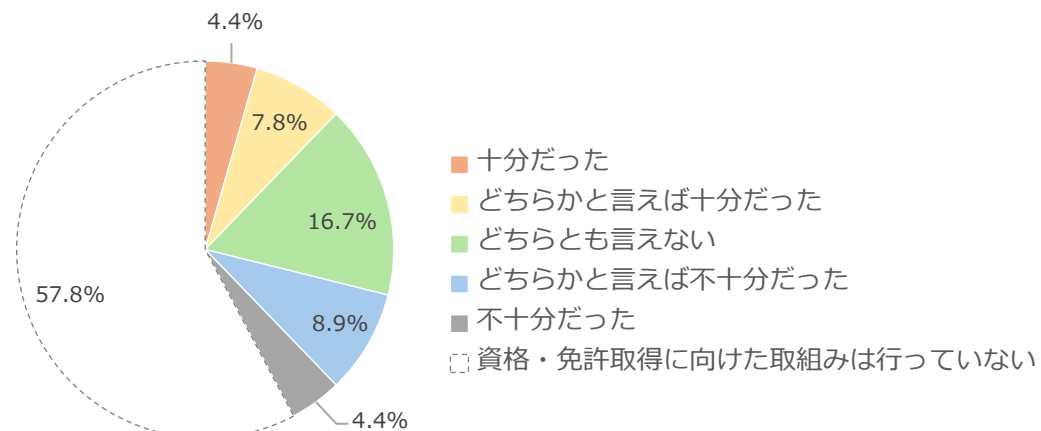
2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：進路・キャリア支援について＞

Q35：大学院等への進学に関する支援は十分だったと思いますか？



Q36：資格・免許取得に関する支援は十分だったと思いますか？



◆参考①：【Q1：大学生生活全般の満足度】×【Q7：学修内容の満足度】

【学修内容満足度】 $p=0.70$ ($p<0.001$)

【全般満足度】		1	2	3	4	5	Q1合計	Q7平均値
	5	0	0	1	12	15	28	4.50
	4	0	3	5	24	3	35	3.77
	3	0	2	14	3	1	20	3.15
	2	0	2	1	0	0	3	2.33
	1	1	0	3	0	0	4	2.50
	Q7合計	1	7	24	39	19	90	3.76
	Q1平均値	1.00	3.14	3.00	4.23	4.74	3.89	

5：満足 4：どちらかと言えば満足 3：どちらとも言えない 2：どちらかと言えば不満 1：不満

◆参考②：【Q1：大学生生活全般の満足度】×【Q31：進路満足度】

【進路満足度】 $p=0.29$ ($p=0.006$)

【全般満足度】		1	2	3	4	5	Q1合計	Q31平均値
	5	0	0	4	5	19	28	4.54
	4	0	1	4	13	17	35	4.31
	3	0	0	6	7	7	20	4.05
	2	0	1	0	2	0	3	3.33
	1	0	1	1	0	2	4	3.75
	Q31合計	0	3	15	27	45	90	4.27
	Q1平均値	—	2.33	3.67	3.78	4.13	3.89	

5：満足 4：どちらかと言えば満足 3：どちらとも言えない 2：どちらかと言えば不満 1：不満

2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：進路・キャリア支援について＞

Q37：就職活動・起業・進学に関する支援について、特に良かったと思う点があれば教えてください。
(回答抜粋)

- 履歴書の添削や面接対策など、実践的なアドバイスを受けることができ、自分の改善点を明確にすることができました。また、企業説明会やセミナーを通じて、多くの企業について知る機会があり、業界理解を深めることができた点も大変役立ちました。
これらの支援を通じて、就職活動に対する意識を高めることができたと感じています。
- 面接練習に何回も付き合っていて、どこをどう直したらいいのかをしっかりと教えてくれたので面接本番も自信を持っていくことができたことがよかったです。
- キャリアに関する質問や相談を行った際に気さくに相談に乗っていただけた点が良かったです。
- 相談をよく受けてくれて、自身の思考が深まった。
- 教員の方々が話を聞いてくれた
- キャリア担当が時間を割いてくれる点。
- 登記場所を大学に設置して良いこと
- 銀行口座開設にあたり東京東信用金庫の担当者に繋いでもらえたこと

2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：進路・キャリア支援について＞

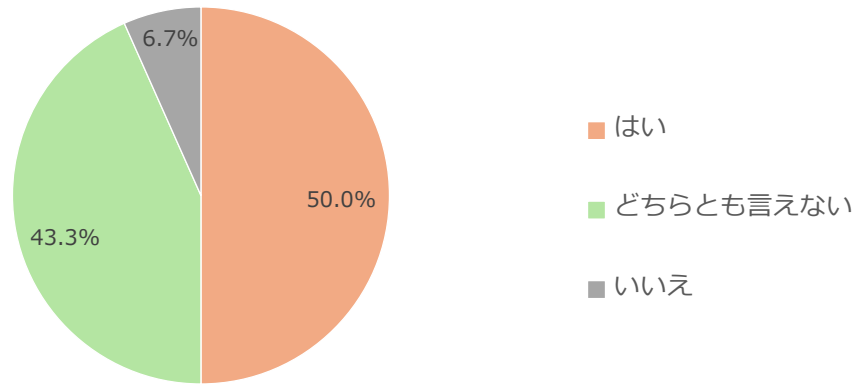
Q38：就職活動・起業・進学に関する支援について、改善した方がよいと思う点があれば教えてください。
(回答抜粋)

- 起業における支援だけでなく、企業活動に対する支援を強めて欲しいと感じた。特に、スタートアップビジネスにしか支援がなく、スモールビジネスに対する支援が弱い事は、改善して欲しいと感じた。
- 個人や法人の税務、特に確定申告などについて学べる機会を提供していただけると尚良いと思う。
- 起業やビジネスにおけるクリエイティビティ以外にアーティスティックなクリエイティビティを発揮することに長けた人物も数人いた。彼らが進路に迷走することが多かったので支援してあげてほしい。
それは企画職やデザイナー職といった彼らの力が発揮されそうなビジネス的な進路に重きを置く以外に、本業は本人が消耗しにくくワークライフバランスの取れる進路を提示するなど幅広い選択肢があることを明示してあげてほしい。
(後略)
- 就職活動に関してはラボの教授の力量に左右されやすいので、それらも考慮してキャリア担当は相談にのっていただきたい。
- 夢をつぶすような発言で無理やり進路を変えさせようとする固い考え方を今すぐ捨てるべき。

2025年度卒業生 卒業時アンケート結果

＜アンケート結果：総合自己評価＞

Q39：本学での学修・課外活動を通してイノベーション人材になったと思いますか？



経年比較

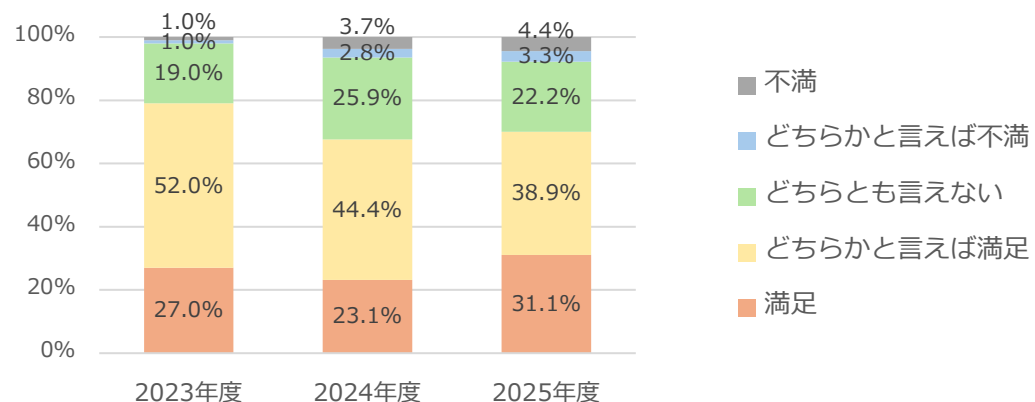
(2023年度～2025年度卒業生)

経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

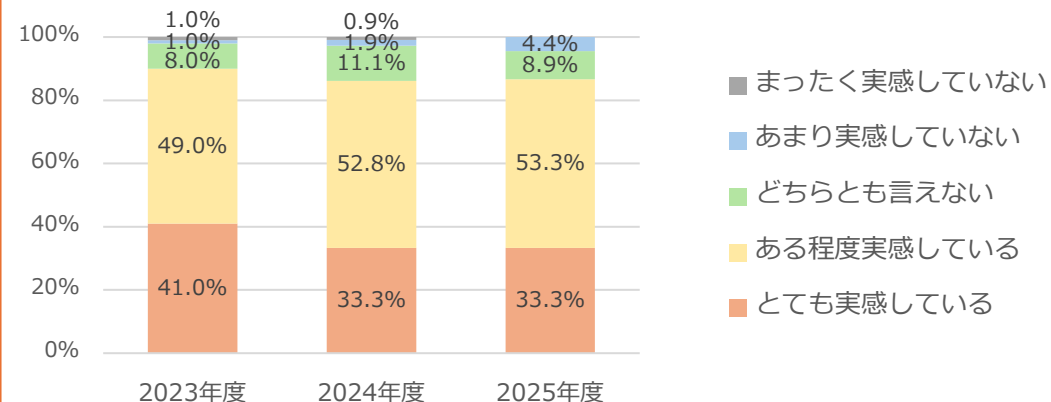
＜回答状況＞ 2023年度卒業生：100人／141人（70.9%）
2024年度卒業生：108人／139人（77.7%）
2025年度卒業生：90人／133人（67.7%）

＜アンケート結果：大学生生活全般について＞

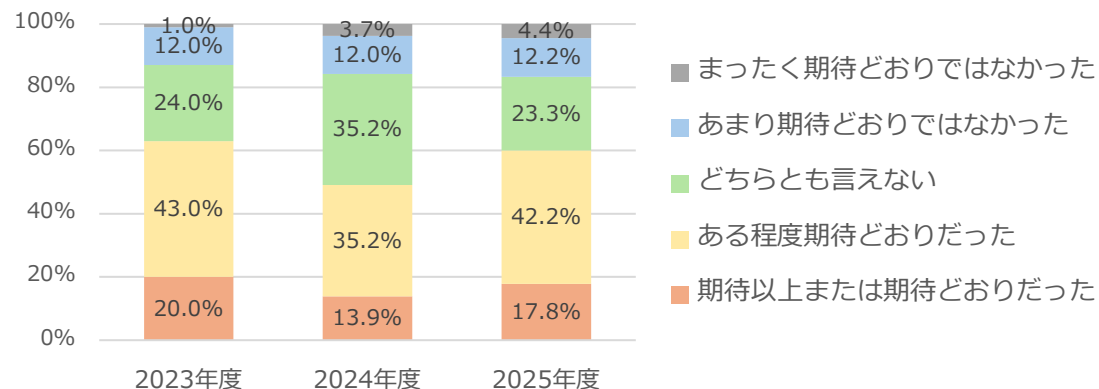
Q1：本学での大学生生活全般について満足していますか？



Q2：本学での大学生生活を振り返って成長を実感していますか？

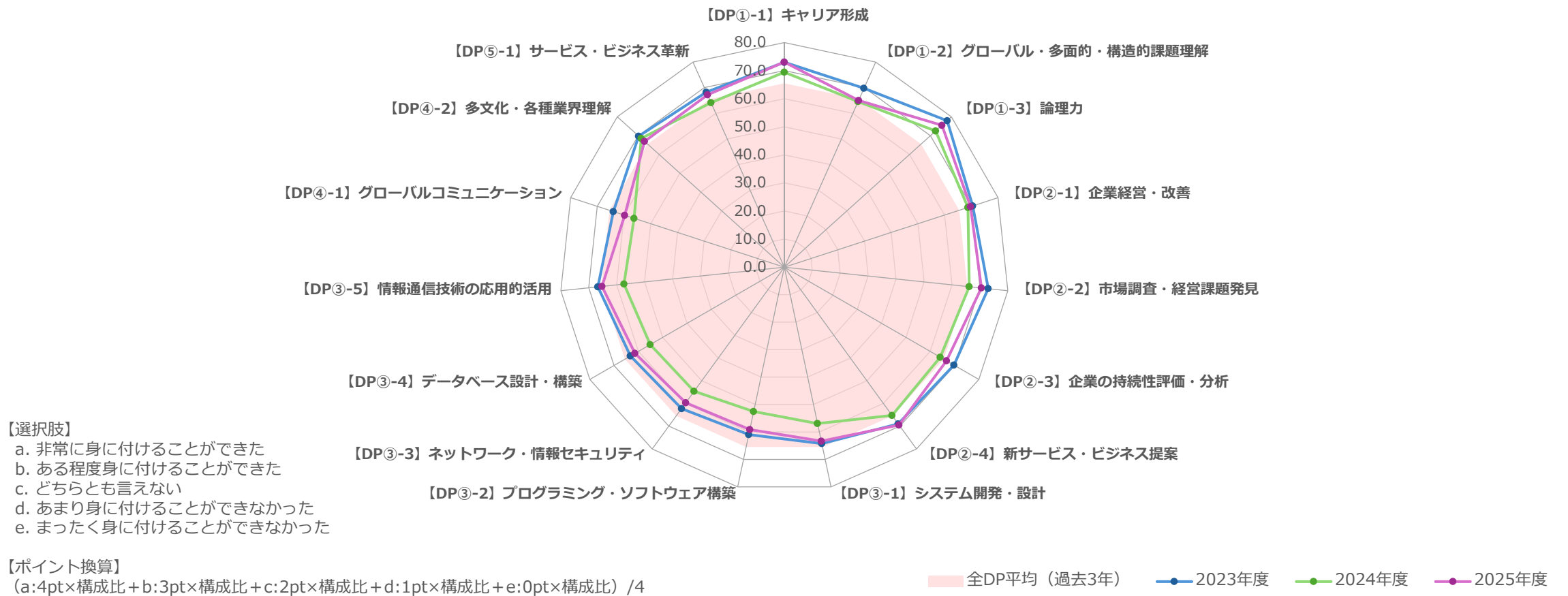


Q5：本学での大学生生活を総合的にみて、入学時の期待と比較して
どのように評価していますか？



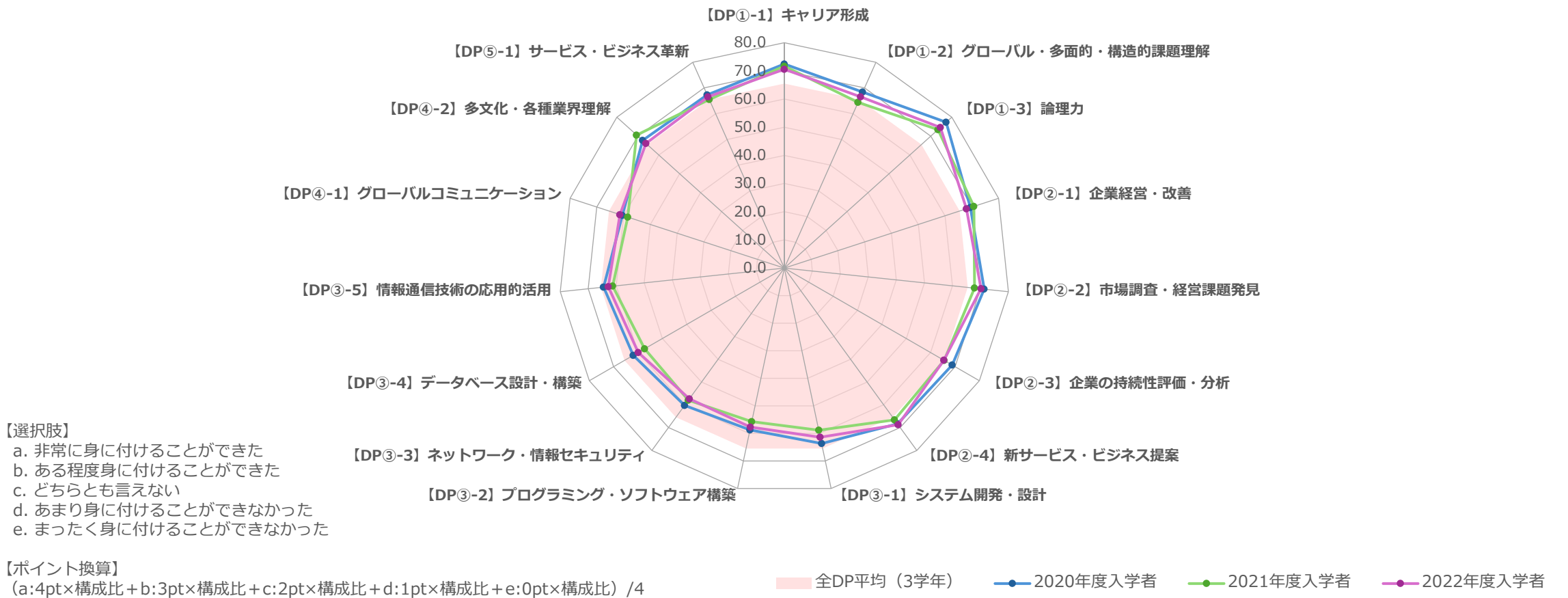
<アンケート結果：学修達成度について（卒業年度別集計）>

Q6：本学での卒業までの学修を通して各ディプロマ・ポリシーに定める能力・態度をどの程度身に付けることができたと思いますか？



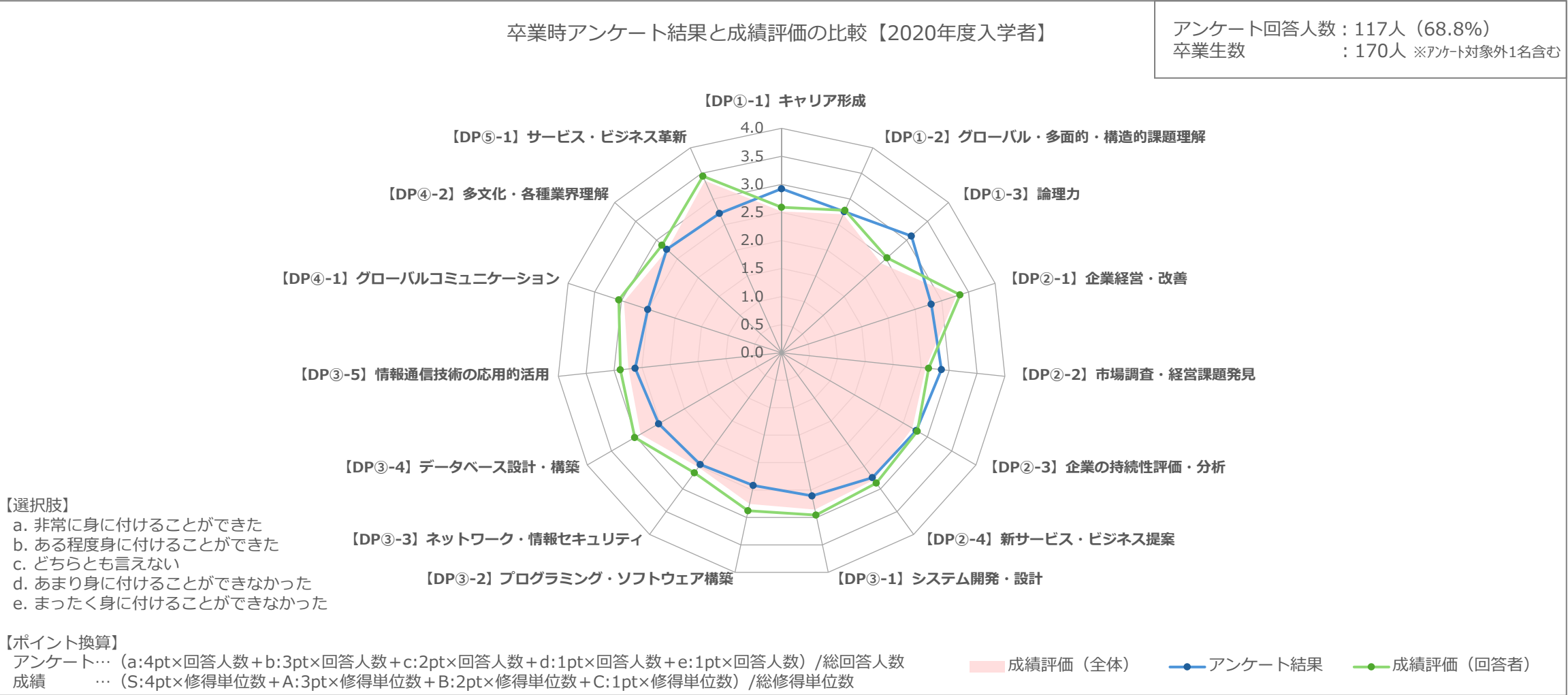
<アンケート結果：学修達成度について（入学年度別集計）>

Q6：本学での卒業までの学修を通して各ディプロマ・ポリシーに定める能力・態度をどの程度身に付けることができたと思いますか？



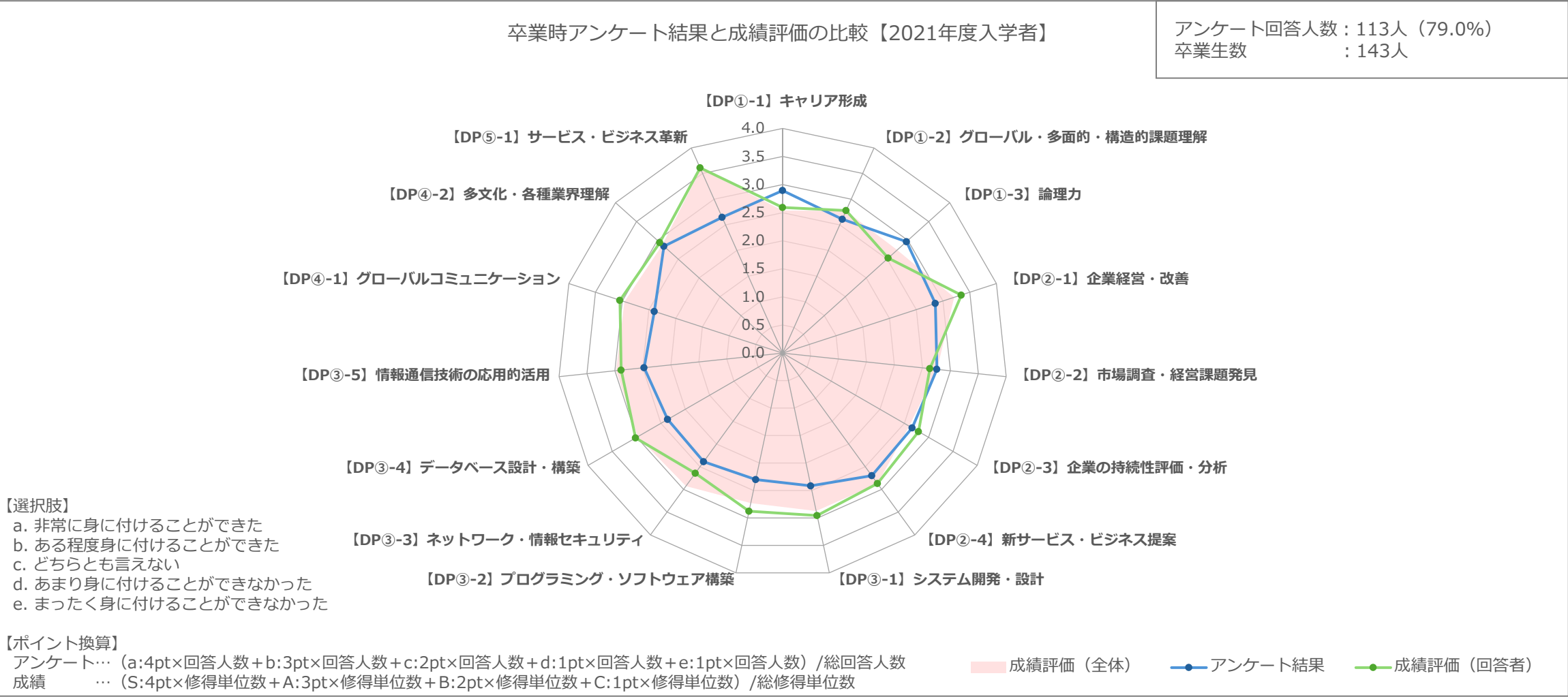
経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

<参考A：卒業時アンケート結果とDP別成績評価の比較>



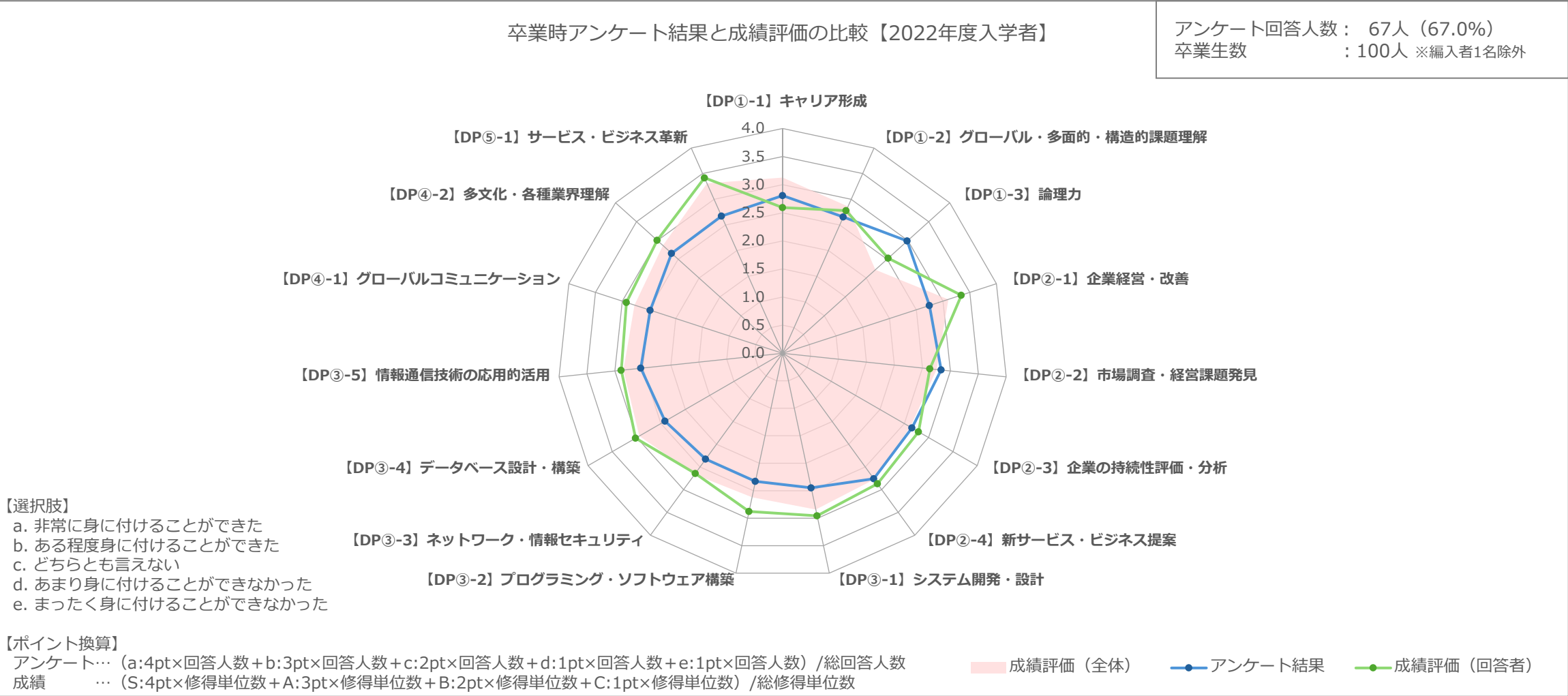
経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

<参考B：卒業時アンケート結果とDP別成績評価の比較>



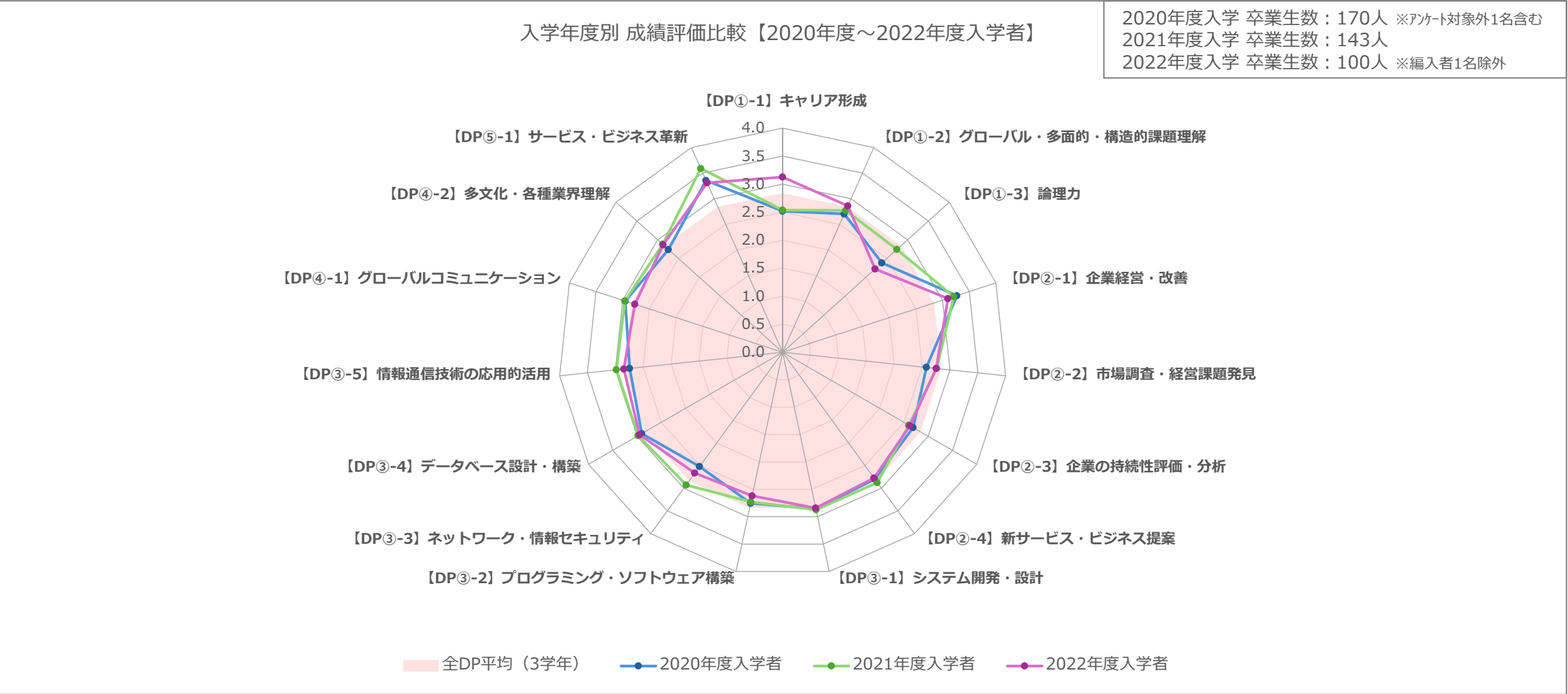
経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

<参考C：卒業時アンケート結果とDP別成績評価の比較>



経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

<参考D：DP別・入学年度別成績評価比較>

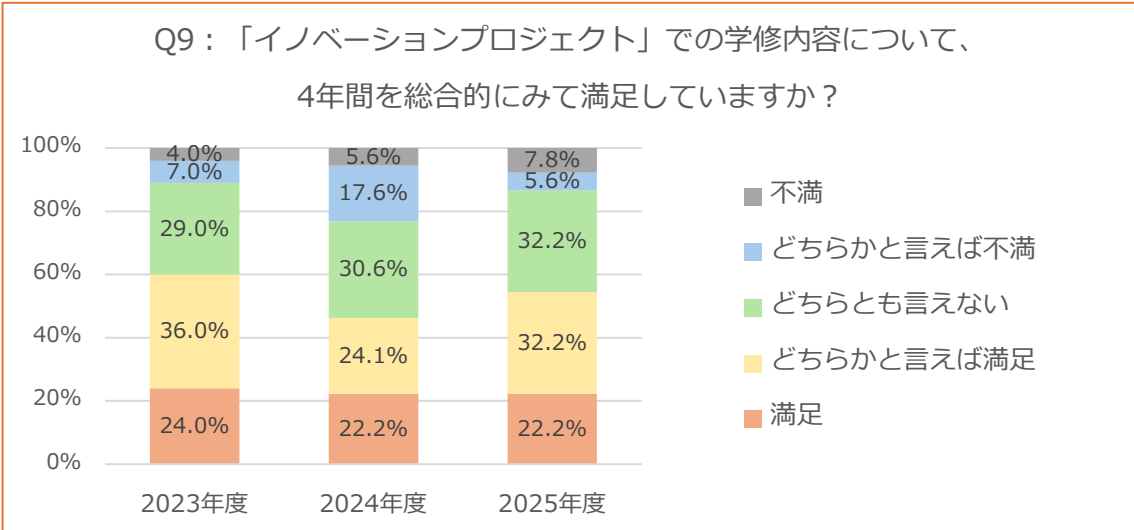
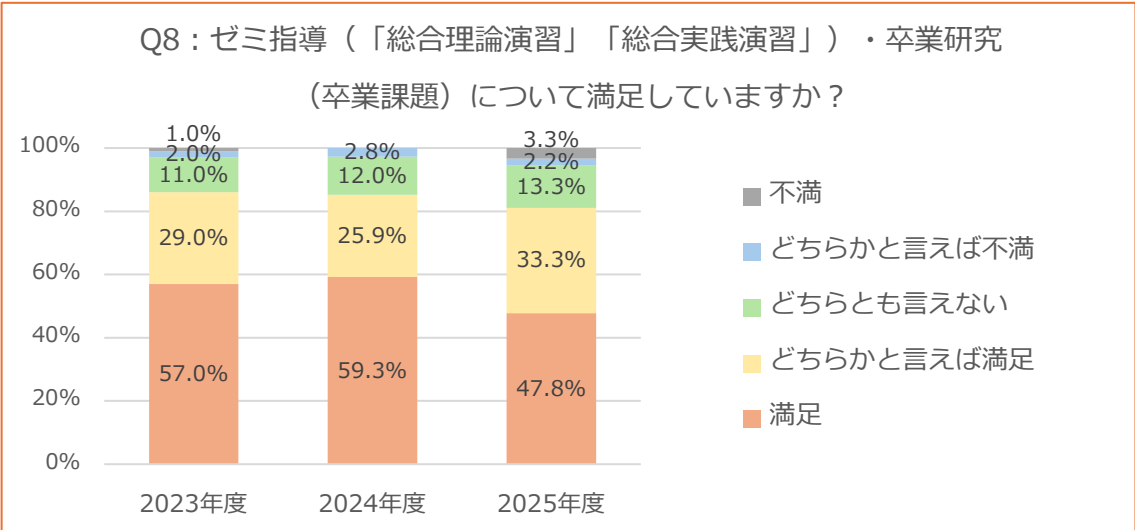
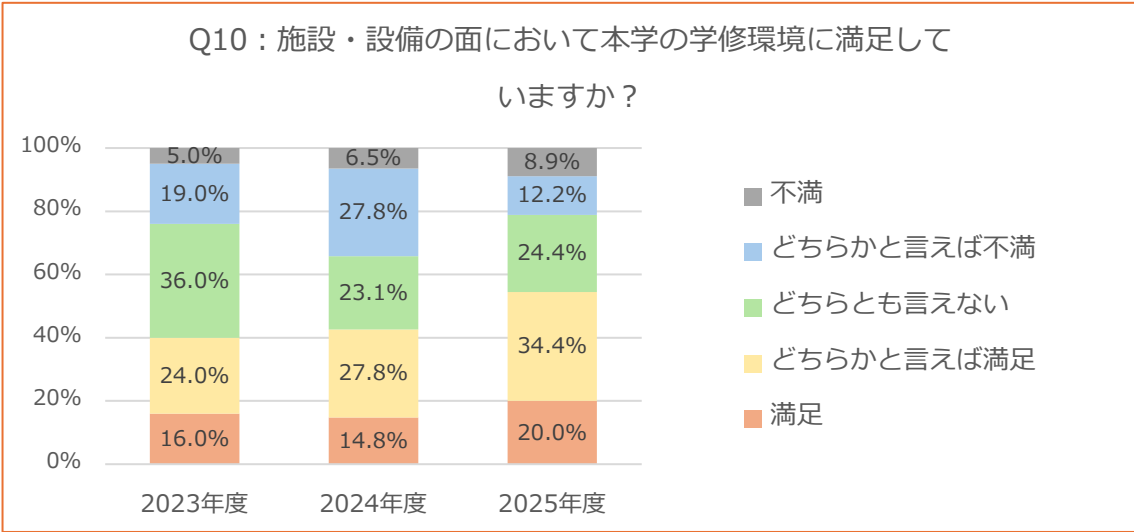
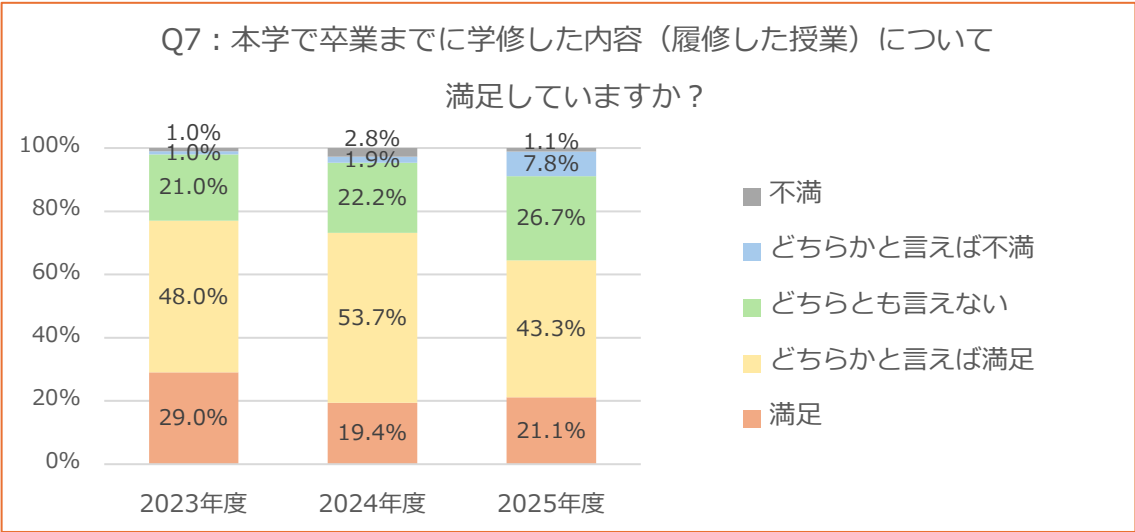


【ポイント換算】
(S:4pt×修得単位数 + A:3pt×修得単位数 + B:2pt×修得単位数 + C:1pt×修得単位数) / 総修得単位数

経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

＜回答状況＞ 2023年度卒業生：100人／141人（70.9%）
2024年度卒業生：108人／139人（77.7%）
2025年度卒業生： 90人／133人（67.7%）

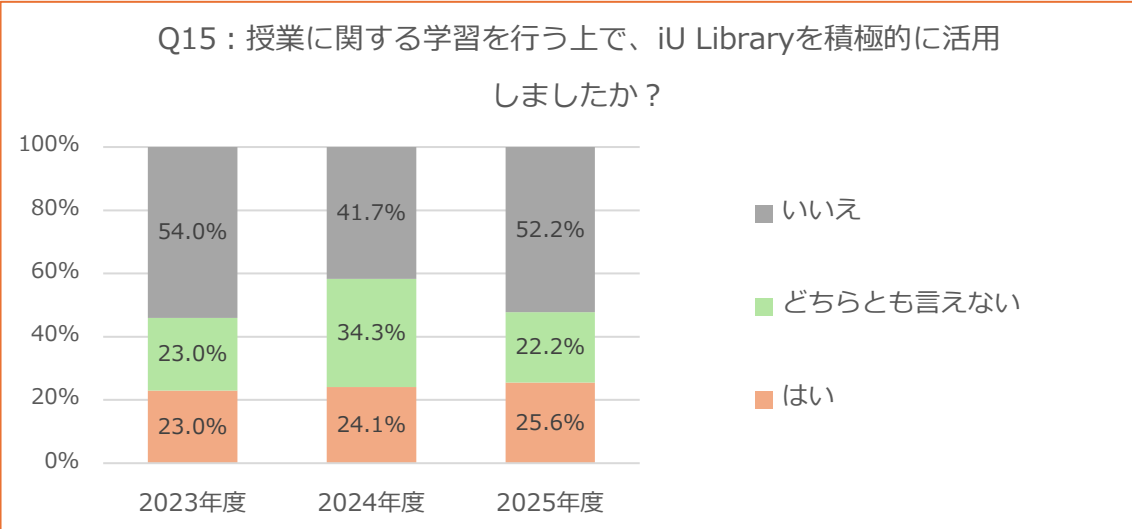
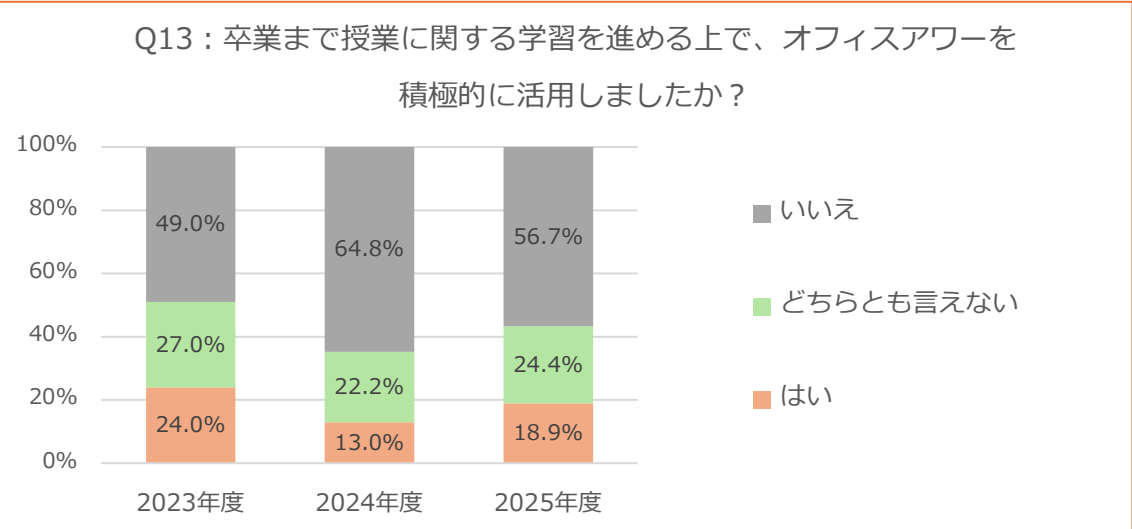
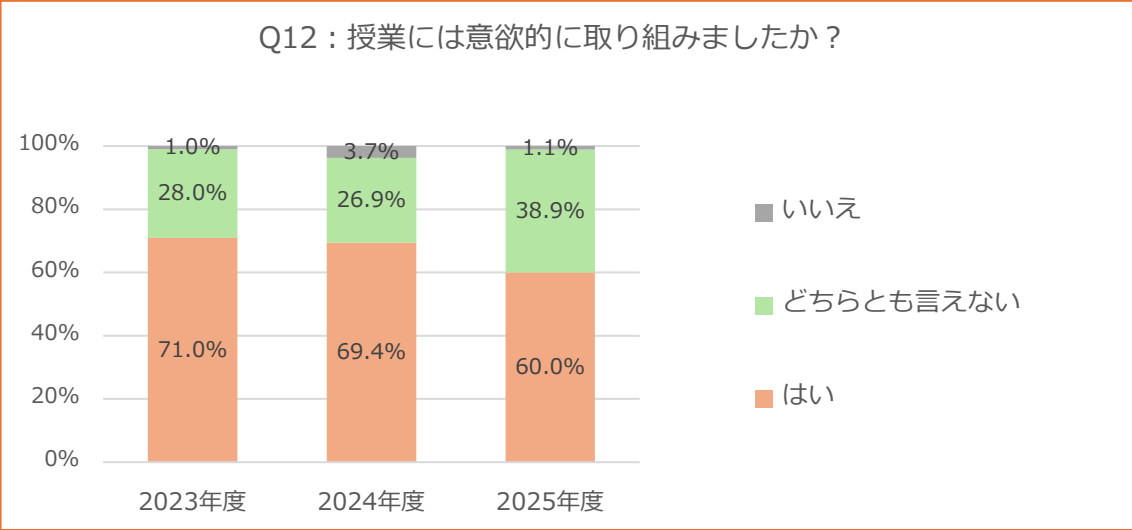
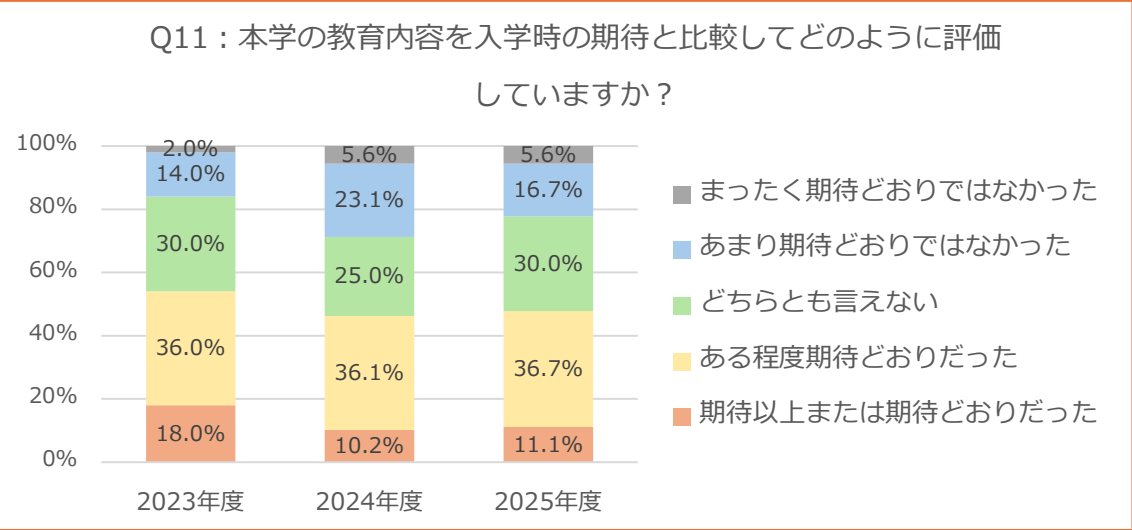
＜アンケート結果：学修について＞



経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

＜回答状況＞ 2023年度卒業生：100人／141人（70.9%）
2024年度卒業生：108人／139人（77.7%）
2025年度卒業生： 90人／133人（67.7%）

＜アンケート結果：学修について＞

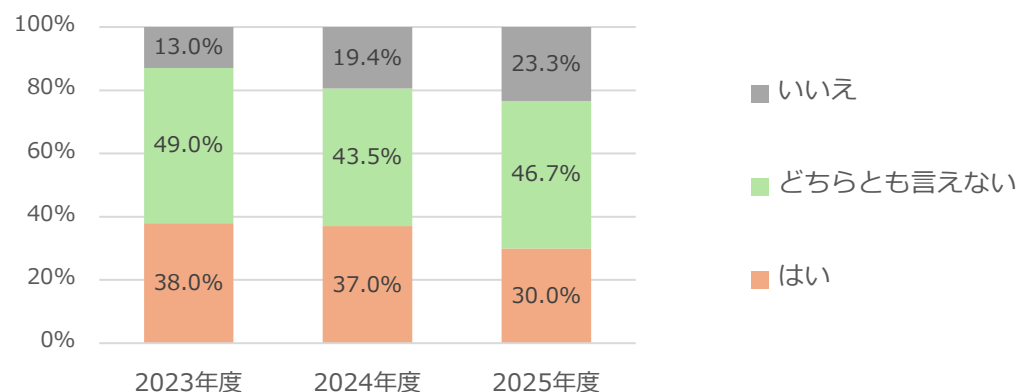


経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

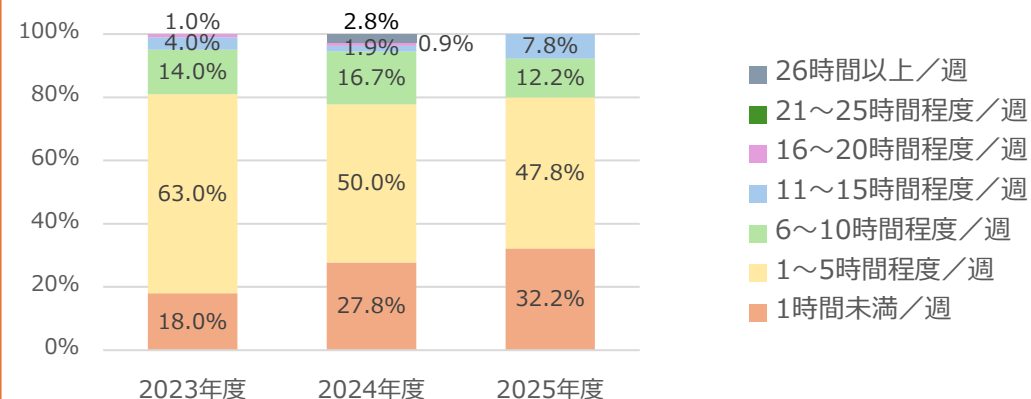
＜回答状況＞ 2023年度卒業生：100人／141人（70.9%）
2024年度卒業生：108人／139人（77.7%）
2025年度卒業生：90人／133人（67.7%）

＜アンケート結果：学修について＞

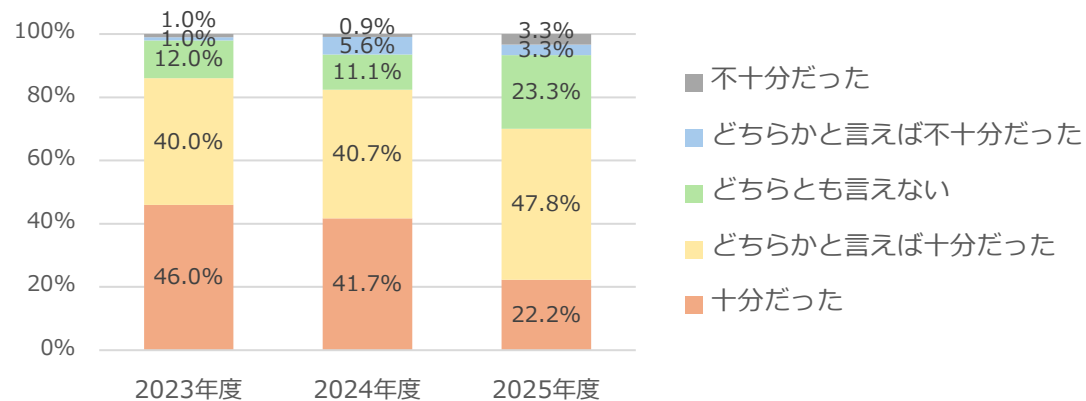
Q14：授業の予習・復習には自主的に取り組みましたか？



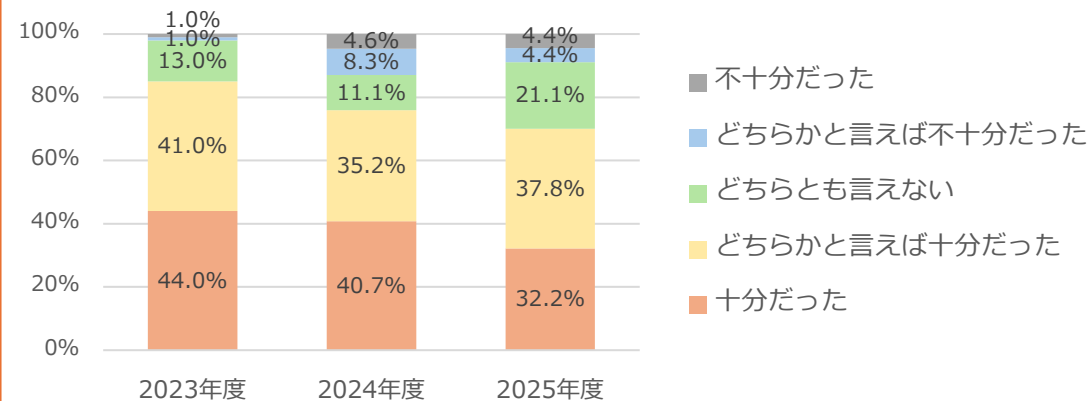
Q16：日常的に、予習・復習・課題など授業に関する学習に1週間あたり平均してどの程度取り組んでいましたか？



Q17：卒業まで学修を進める上で、教員からの支援は十分だったと思いますか？



Q18：卒業まで学修を進める上で、職員からの支援は十分だったと思いますか？

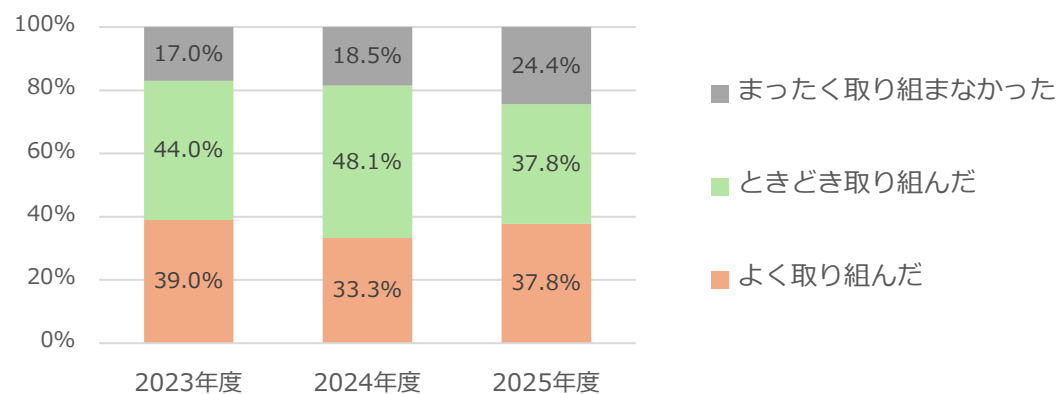


経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

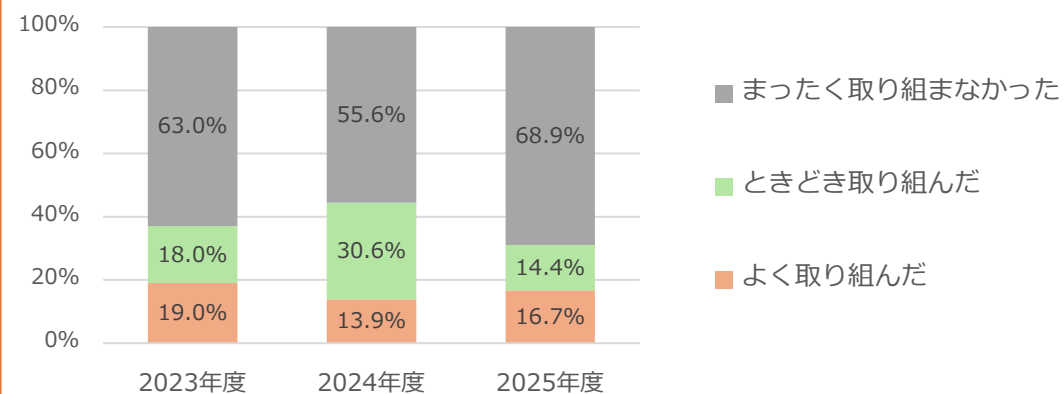
＜回答状況＞ 2023年度卒業生：100人／141人（70.9%）
2024年度卒業生：108人／139人（77.7%）
2025年度卒業生：90人／133人（67.7%）

＜アンケート結果：課外活動について＞

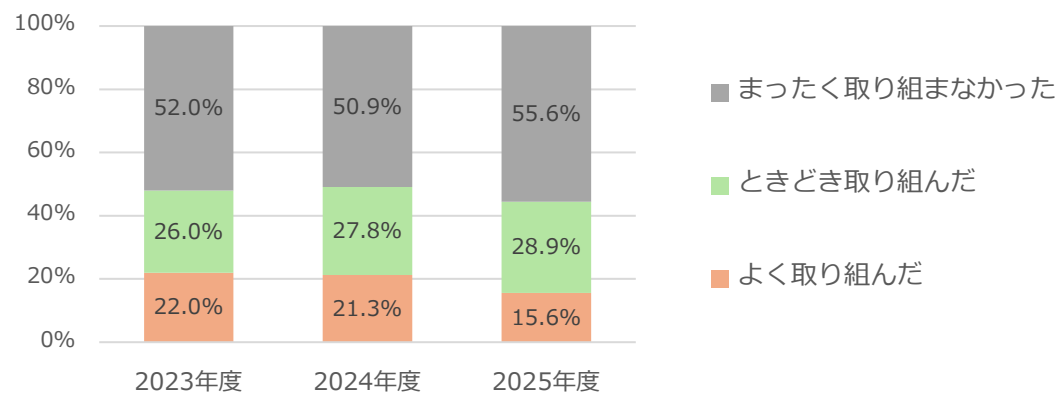
Q21：プロジェクト活動はどの程度取り組みましたか？



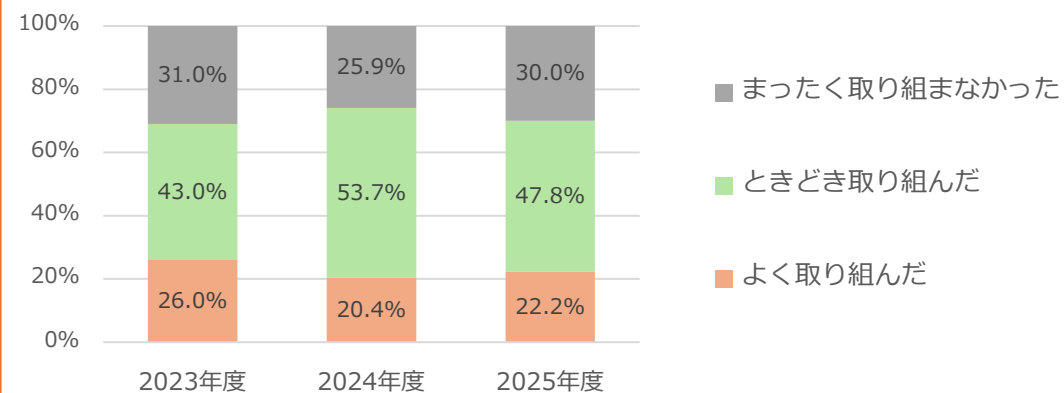
Q22：学友会（学生委員会等）活動はどの程度取り組みましたか？



Q23：クラブ・サークル活動はどの程度取り組みましたか？



Q24：学内行事・イベントにはどの程度取り組みましたか
（参加しましたか）？

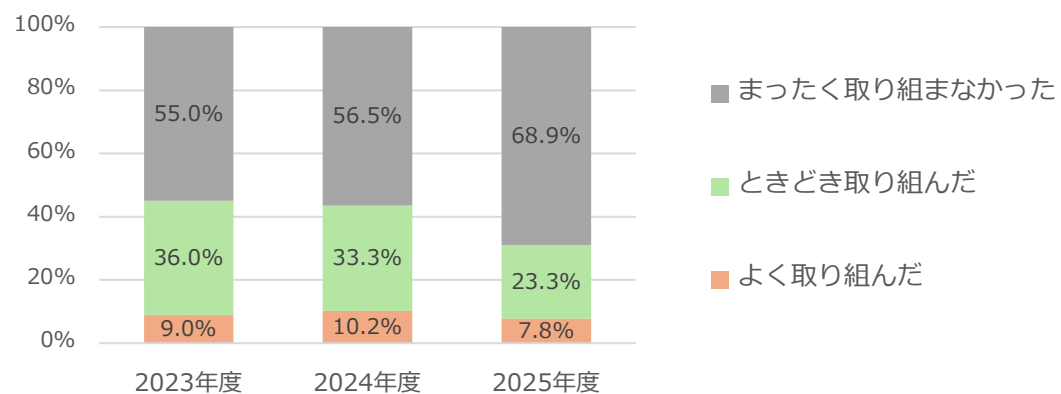


経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

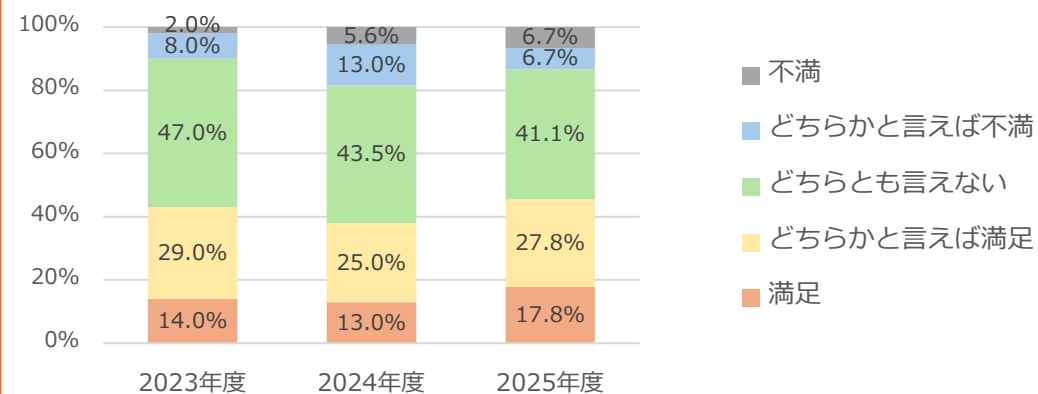
＜回答状況＞ 2023年度卒業生：100人／141人（70.9%）
2024年度卒業生：108人／139人（77.7%）
2025年度卒業生：90人／133人（67.7%）

＜アンケート結果：課外活動について＞

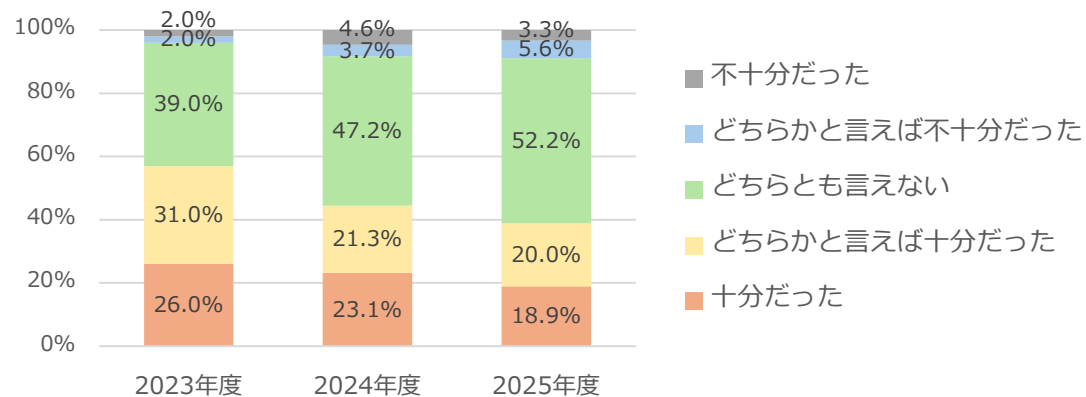
Q25：ボランティアなどの社会活動にはどの程度取り組みましたか
（参加しましたか）？



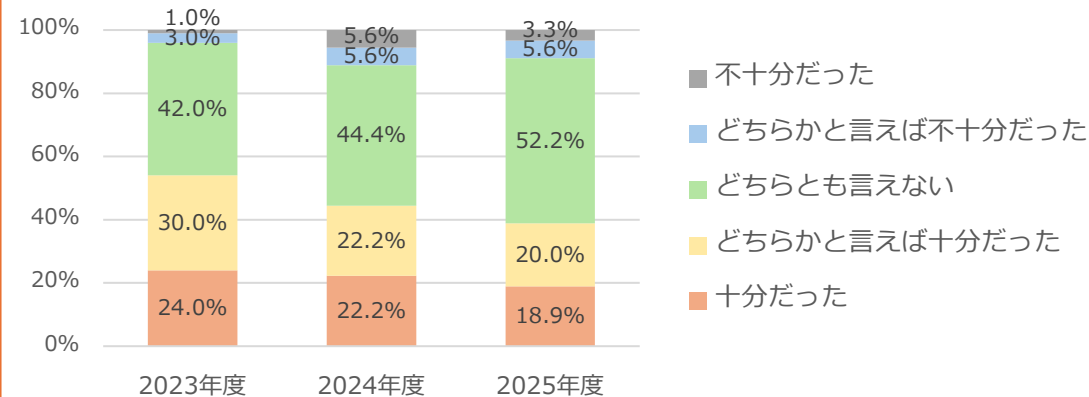
Q26：課外活動を行う上で、本学の施設・設備に満足していますか？



Q27：課外活動を行う上で、教員からの支援は十分だったと思いますか？



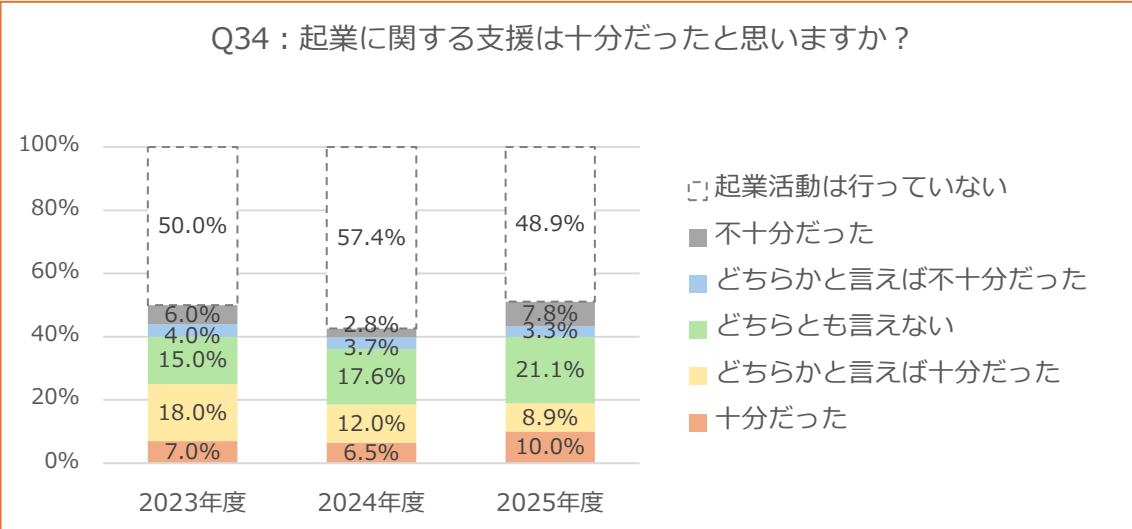
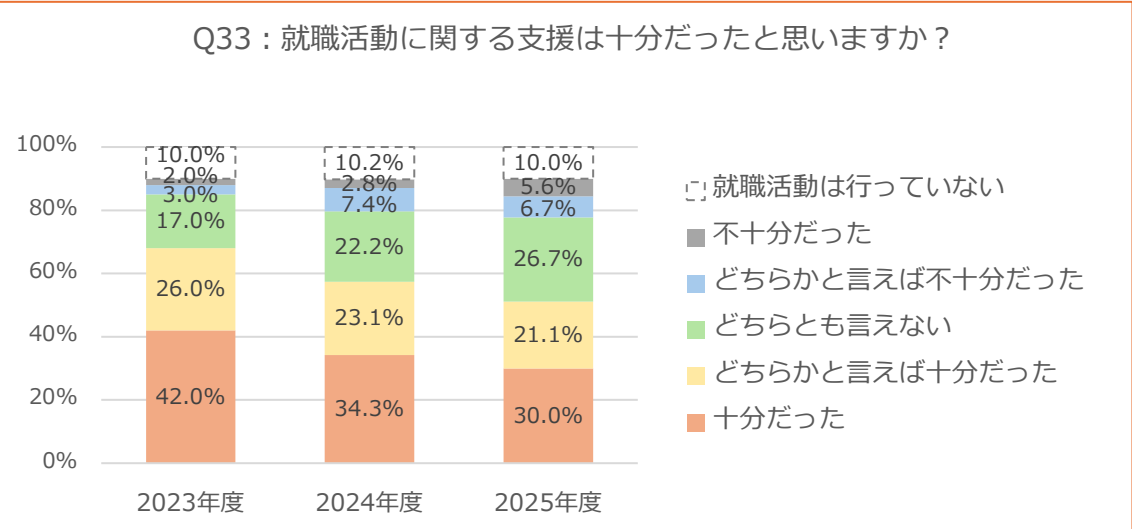
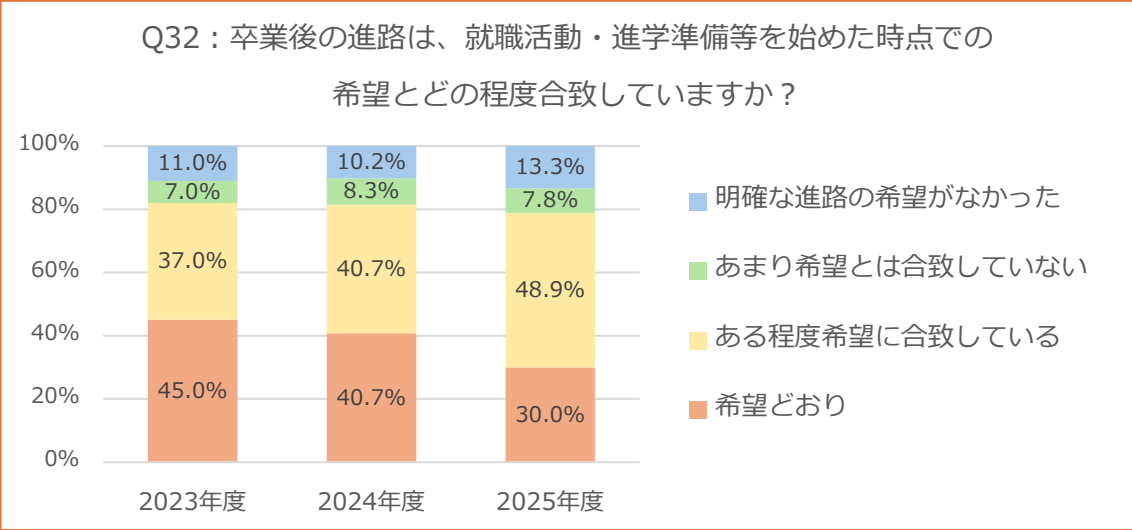
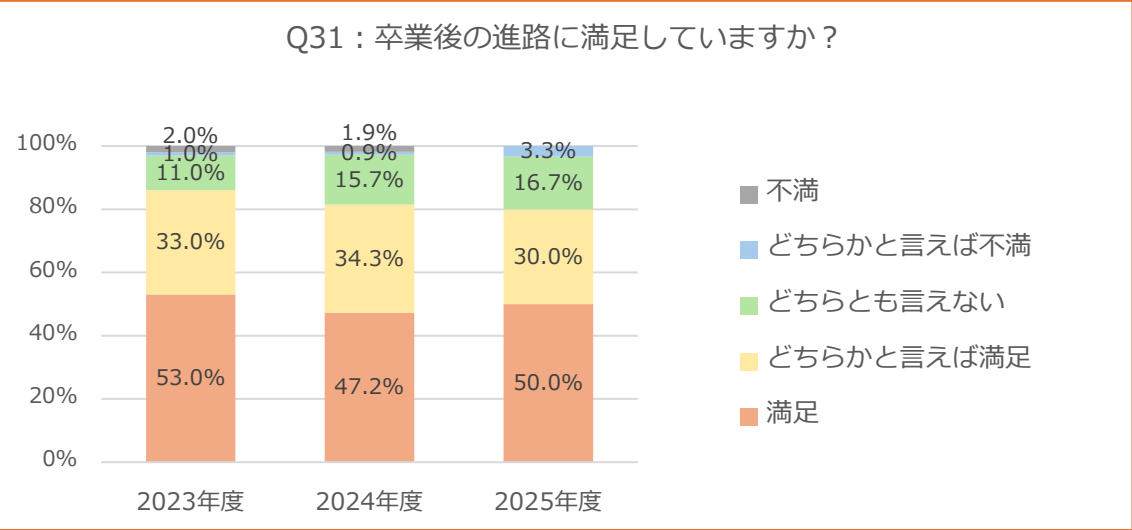
Q28：課外活動を行う上で、職員からの支援は十分だったと思いますか？



経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

＜回答状況＞ 2023年度卒業生：100人／141人（70.9%）
2024年度卒業生：108人／139人（77.7%）
2025年度卒業生： 90人／133人（67.7%）

＜アンケート結果：進路・キャリア支援について＞

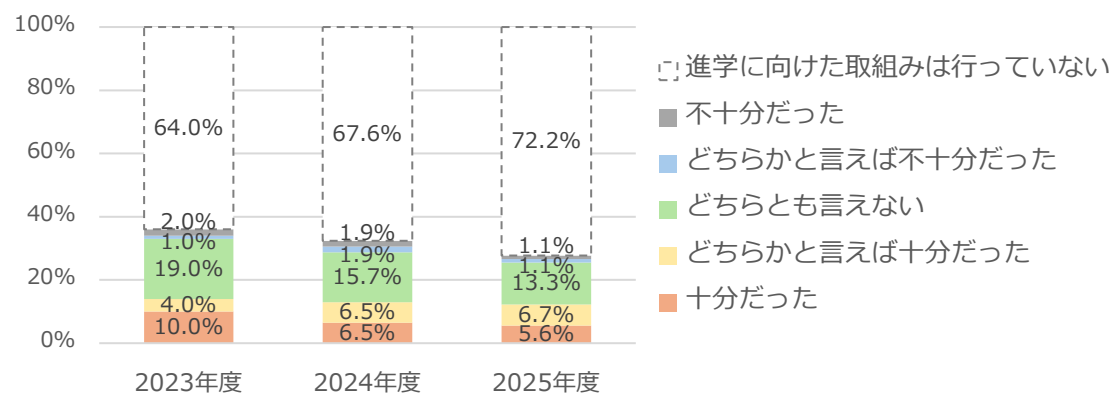


経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

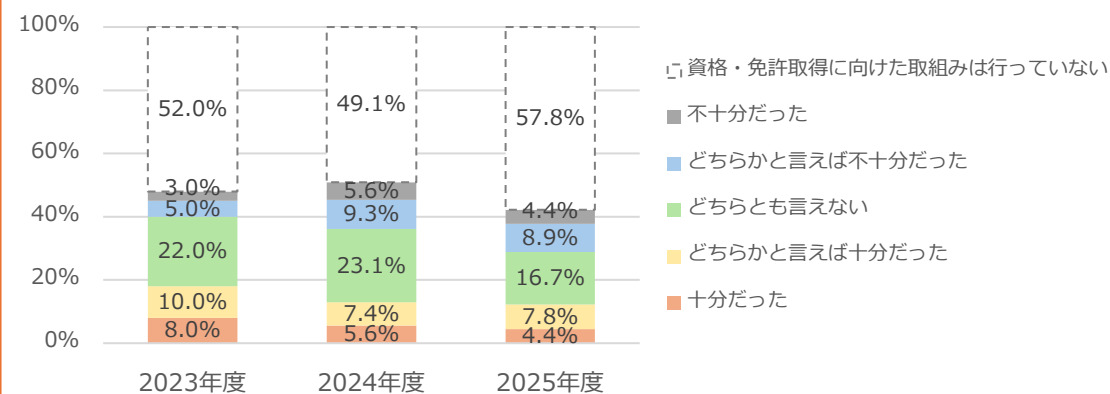
＜回答状況＞ 2023年度卒業生：100人／141人（70.9%）
2024年度卒業生：108人／139人（77.7%）
2025年度卒業生：90人／133人（67.7%）

＜アンケート結果：進路・キャリア支援について＞

Q35：大学院等への進学に関する支援は十分だったと思いますか？



Q36：資格・免許取得に関する支援は十分だったと思いますか？



経年比較（2023年度～2025年度卒業生）

＜回答状況＞ 2023年度卒業生：100人／141人（70.9%）
2024年度卒業生：108人／139人（77.7%）
2025年度卒業生： 90人／133人（67.7%）

＜アンケート結果：総合自己評価＞

